

# アンケート調査結果【要旨】

---

## 目 次

I	アンケート調査概要 .....	1
II	アンケート調査結果【要旨】	
1	居住環境.....	2
2	就労環境.....	8
3	進学希望.....	16
4	結婚.....	19
5	子育て.....	22
6	市のイメージ.....	26
7	その他.....	30



## I アンケート調査概要

「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、実施したアンケート調査の概要を以下に整理した。(表 1-1)

表 1-1 アンケート調査の概要

	市民アンケート	高校生アンケート	学生アンケート	参考) 事業所アンケート
調査対象	・射水市内に居住する満20歳以上40歳未満の市民2,000人(無作為抽出)	・射水市内に居住する満18歳の市民300人(無作為抽出)	・射水市内の高等教育機関(富山県立大学、富山高等専門学校、富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校)に在籍する全学生500人	・射水市内にある事業所500社
調査方法	・アンケート調査票を郵送にて配布・回収	・アンケート調査票を郵送にて配布・回収	・市より各校へアンケート調査票を配布・回収	・アンケート用紙を郵送にて配布・回収
調査期間	・平成27年6月～7月	・平成27年6月～7月	・平成27年6月～7月	・平成27年1月
配布数	2,000票	300票	500票	500票
回収数	869票	131票	411票	242票
回収率	43.5%	43.7%	82.2%	48.4%

## Ⅱ アンケート調査結果【要旨】

### 1 居住環境

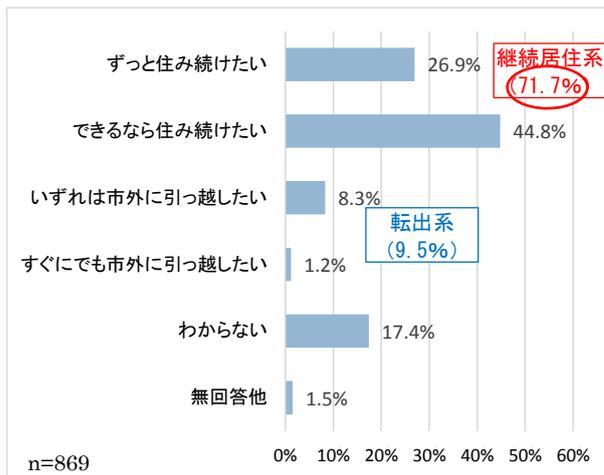
#### (1) 継続居住意向

市民アンケートでは、「継続居住系」(「ずっと住み続けたい」+「できるなら住み続けたい」)の割合が71.7%と、他のアンケート(高校生及び学生)に比べ著しく高い。(図2-1)

高校生アンケートでは、「Uターン系」(「一度は市外に出ても、いずれ戻り住みたい」)の割合が32.1%と最も高い。また、「継続居住系」の割合が29.8%と市民アンケートに比べ低い。(図2-2)

学生アンケートでは、「わからない」の割合が52.8%と最も高い。また、「転出系」(「住み続けたくない(住みたくない)」)の割合が31.1%と、他のアンケートに比べ著しく高い。(図2-3)

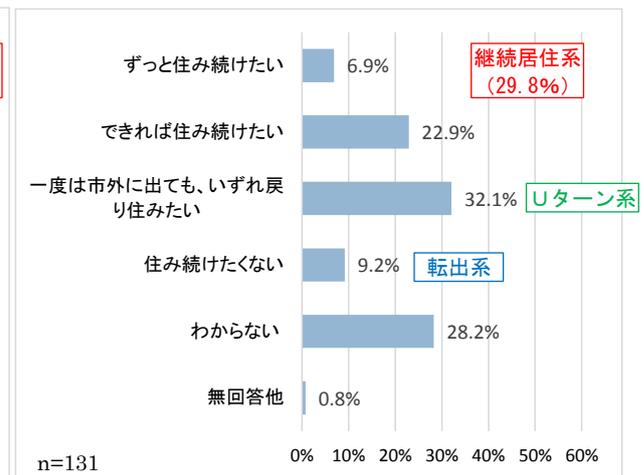
図2-1 継続居住意向(市民)



(単数回答)

資料：市民アンケート調査

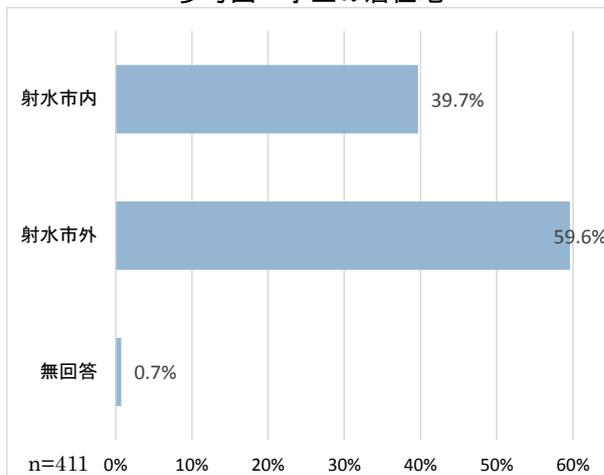
図2-2 継続居住意向(高校生)



(単数回答)

資料：高校生アンケート調査

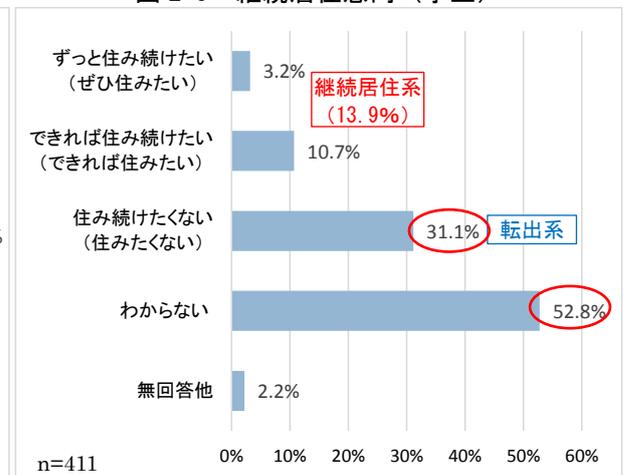
参考図 学生の居住地



(単数回答)

資料：学生アンケート調査

図2-3 継続居住意向(学生)



(単数回答)

資料：学生アンケート調査

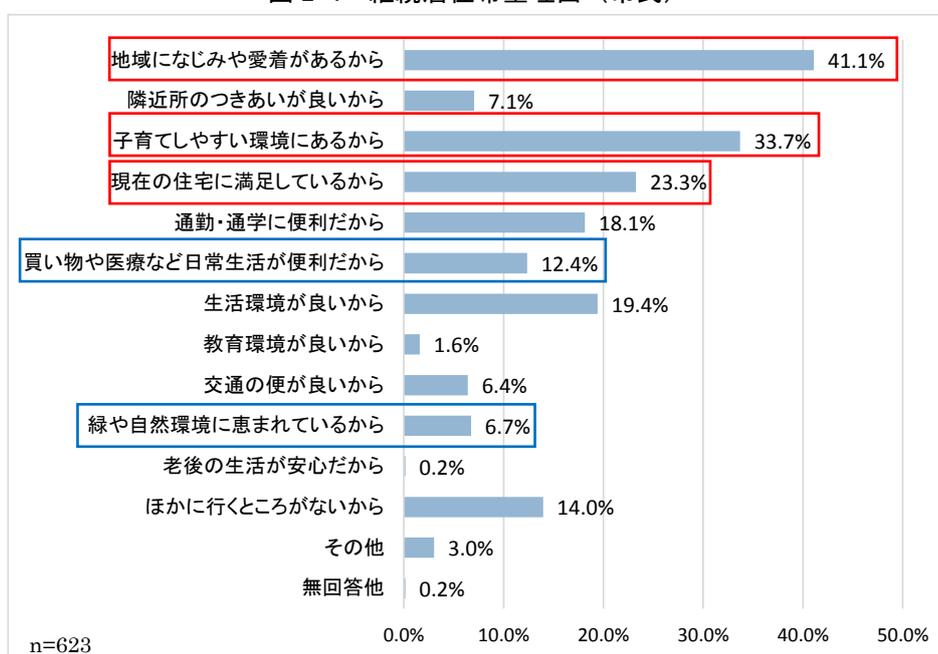
## (2) 継続居住希望理由

市民アンケートでは、「地域のなじみ・愛着」の割合が 41.1%と最も高く、「子育て環境」(33.7%)、「住宅」(23.3%) 等と続く結果となった。また、他のアンケートに比べ「自然環境」や「日常生活の利便性」の割合が低い傾向がみられる。(図 2-4)

高校生アンケートでは、「生まれ育ったまち」の割合が 44.4%と最も高く、「市への愛着」(39.5%)、「自然環境」(34.6%)、「日常生活の利便性」(23.5%) 等と続く結果となった。また、学生アンケートに比べ、「生まれ育ったまち」の割合が高い傾向がみられる。(図 2-5)

学生アンケートでは、「日常生活の利便性」の割合が 29.8%と最も高く、「生まれ育ったまち」(28.1%)、「自然環境」(26.3%) 等と続く結果となった。また、他のアンケートに比べ「愛着」の割合が著しく低い傾向がみられる。(図 2-6)

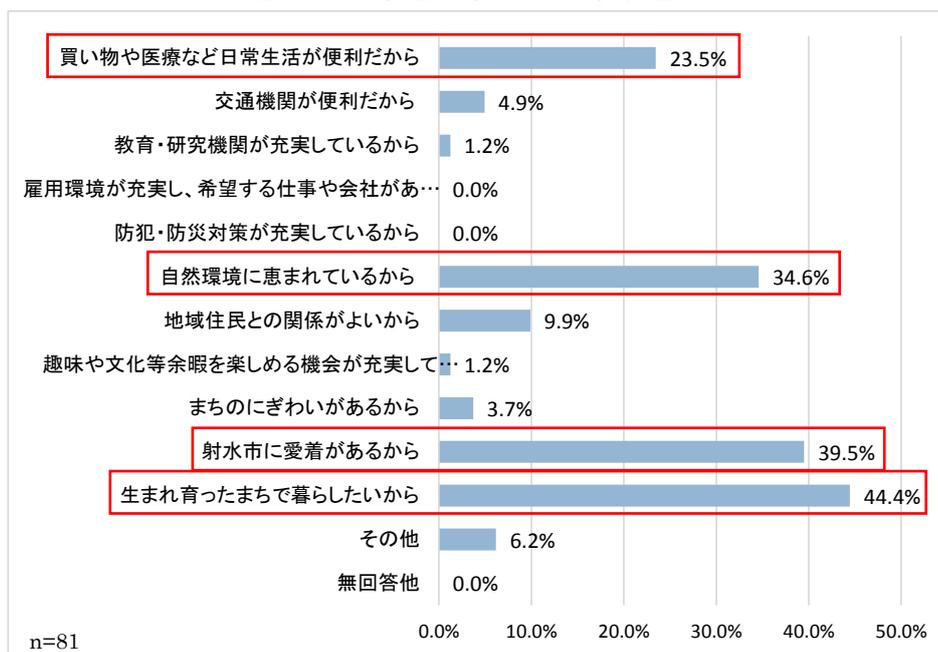
図 2-4 継続居住希望理由 (市民)



(複数回答/限定質問)

資料：市民アンケート調査

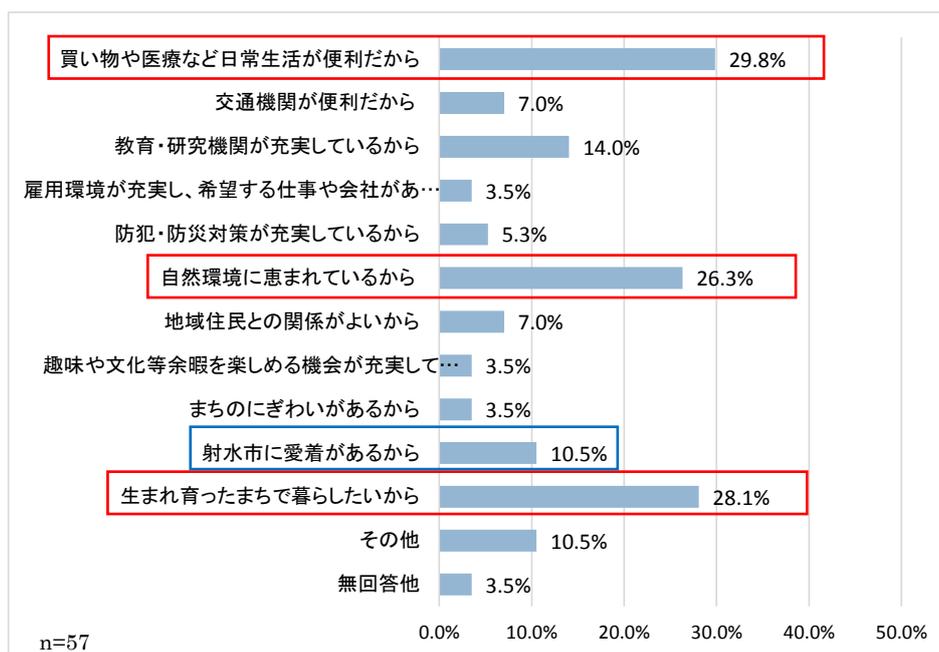
図 2-5 継続居住希望理由（高校生）



(複数回答/限定質問)

資料：高校生アンケート調査

図 2-6 継続居住希望理由（学生）



(複数回答/限定質問)

資料：学生アンケート調査

### (3) 転居希望理由

市民アンケートでは、「地域のなじみ・愛着」の割合が23.2%と最も高く、「交通の便」(20.7%)、「日常生活の利便性」・「仕事の関係」(各15.9%)、「通勤・通学の利便性」等と続く結果となった。また、他のアンケートに比べ「交通の便」の割合が低い傾向がみられる。(図2-7)

高校生アンケートでは、「交通の便」の割合が58.3%と最も高く、「希望する仕事・会社のなさ」・「余暇の機会」(各25.0%)等と続く結果となった。また、学生アンケートに比べ、「交通の便」や「希望する仕事・会社のなさ」の割合が著しく高い傾向がみられる。(図2-8)

学生アンケートでは、「交通の便」の割合が45.3%と最も高く、「市への愛着」(32.8%)、「生まれ育ったまちで暮らしたくない」(32.0%)、「日常生活の利便性」(24.2%)、「余暇の機会」(21.1%)等と続く結果となった。特に、高校生アンケートに比べ「生まれ育ったまちで暮らしたくない」の割合が著しく高い傾向がみられる。(図2-9)

図2-7 転居希望理由（市民）

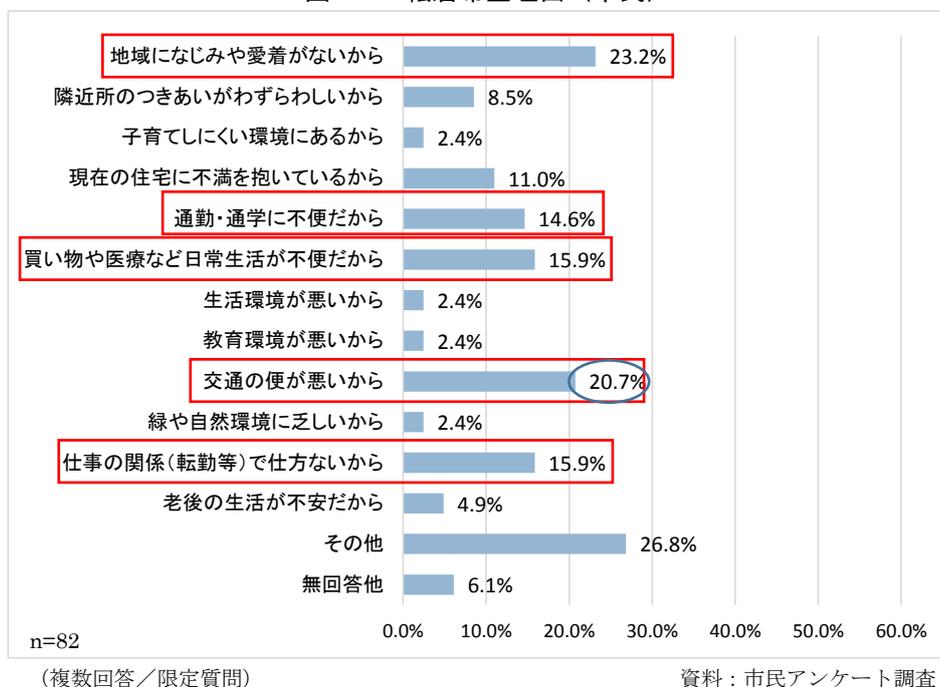
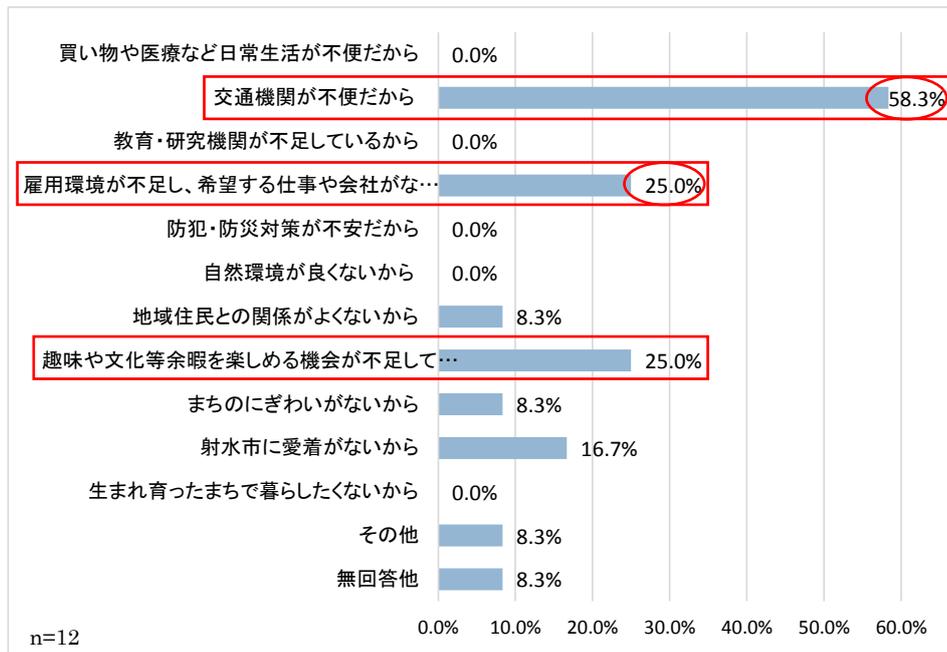


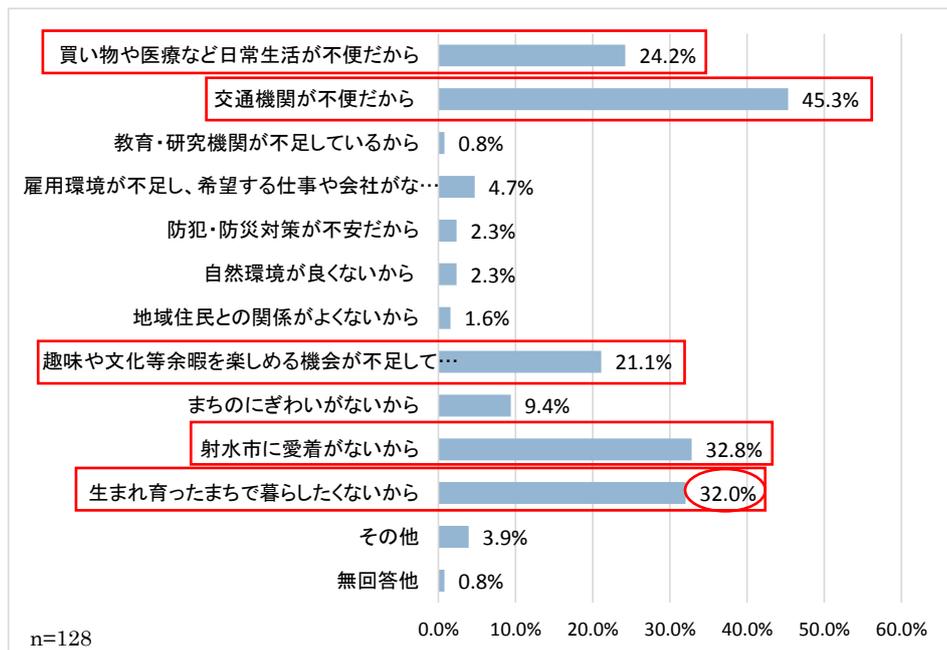
図 2-8 転居希望理由（高校生）



(複数回答/限定質問)

資料：高校生アンケート調査

図 2-9 転居希望理由（学生）



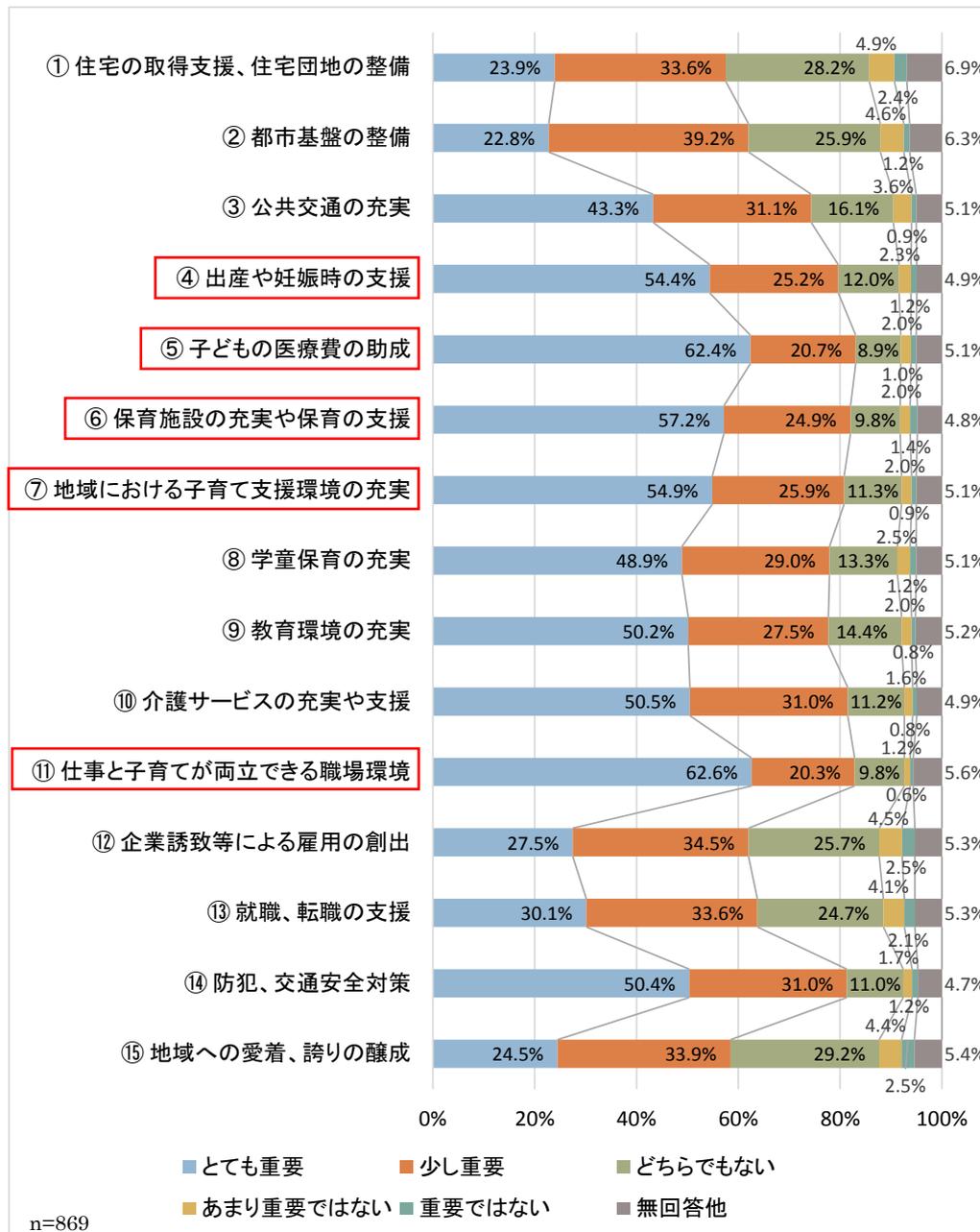
(複数回答/限定質問)

資料：学生アンケート調査

#### (4) 継続居住のために重要となる施策（市民）

「とても重要」と回答した割合を比較すると、「仕事と子育てが両立できる職場環境」が62.6%と最も高く、「子どもの医療費の助成」(62.4%)、「保育施設の充実や保育の支援」(57.2%)、「地域における子育て支援環境の充実」(54.9%)、「出産や妊娠時の支援」(54.4%)等と続く結果となった。このように、市民は、継続居住のためには、幅広い子育て支援策を望んでいることがわかる。(図 2-10)

図 2-10 継続居住のために重要となる施策（市民）



資料：市民アンケート調査

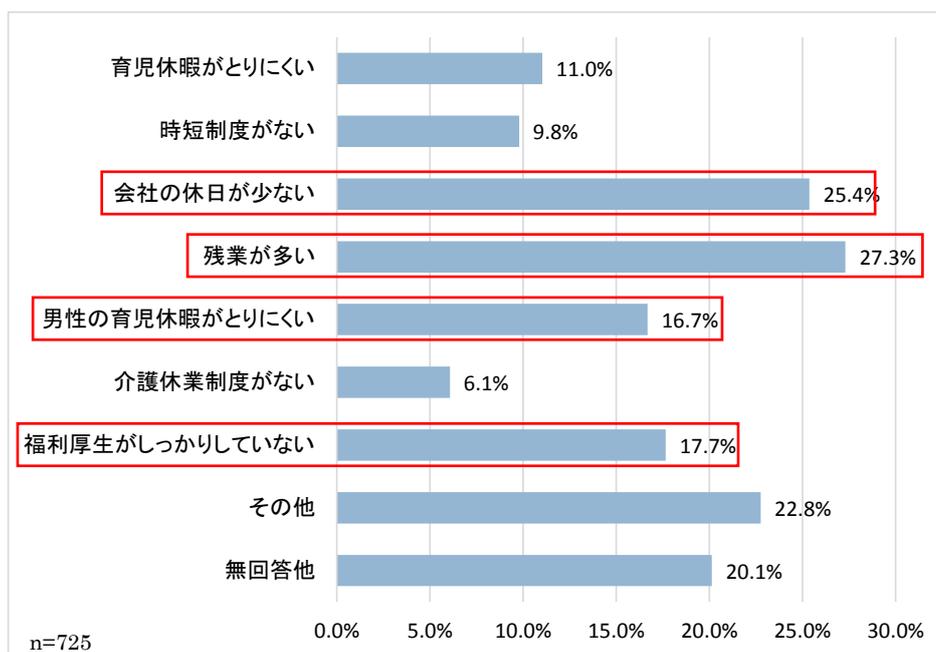
## 2 就労環境

### (1) 改善要望（市民）

「残業が多い」の割合が27.3%と最も高く、「会社の休日が少ない」25.4%、「福利厚生がしっかりしていない」17.7%、「男性の育児休暇がとりにくい」16.7%と続く。（図 2-11）

会社の従業員数規模別にみると、100人以上の会社の「残業が多い」、29人以下の会社の「福利厚生がしっかりしていない」の割合が高い傾向がみられる。（図 2-12）

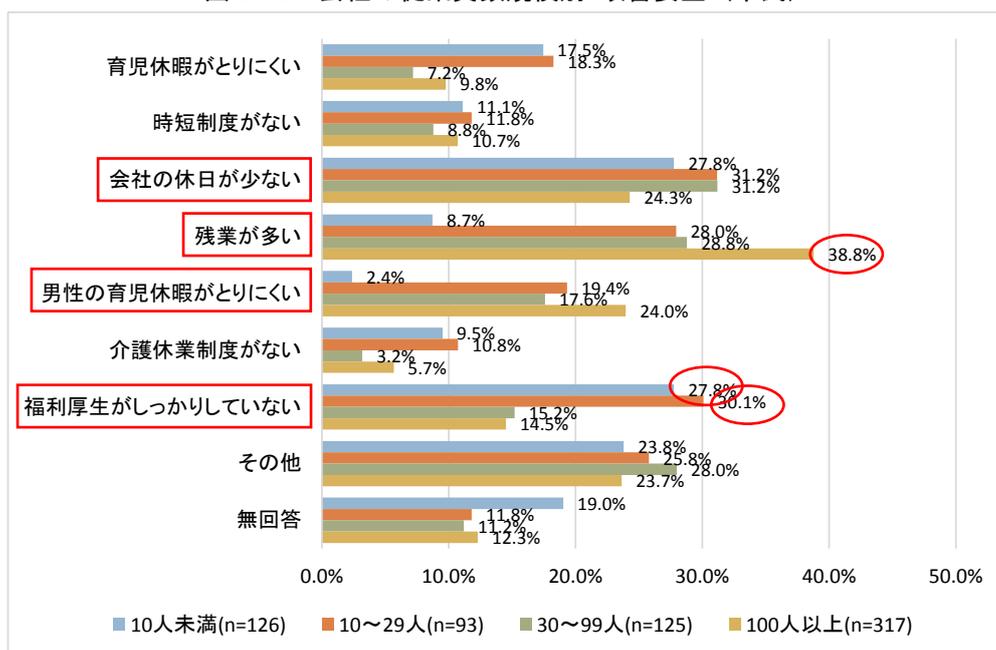
図 2-11 改善要望（市民）



（複数回答／限定質問）

資料：市民アンケート調査

図 2-12 会社の従業員数規模別 改善要望（市民）



（複数回答／限定質問）

資料：市民アンケート調査

## (2) 就労環境（企業）

市内企業の1週の所定労働時間は、全体平均で41.0時間とやや長い結果となった。正規従業員の規模別に見ると、10人未満の企業で所定労働時間が長い傾向がみられる。（表2-1）

市内企業の1ヶ月の平均時間外勤務時間は、全体平均で13.0時間であり、正規従業員の規模が大きいかほど長くなる傾向がみられる。（表2-1）

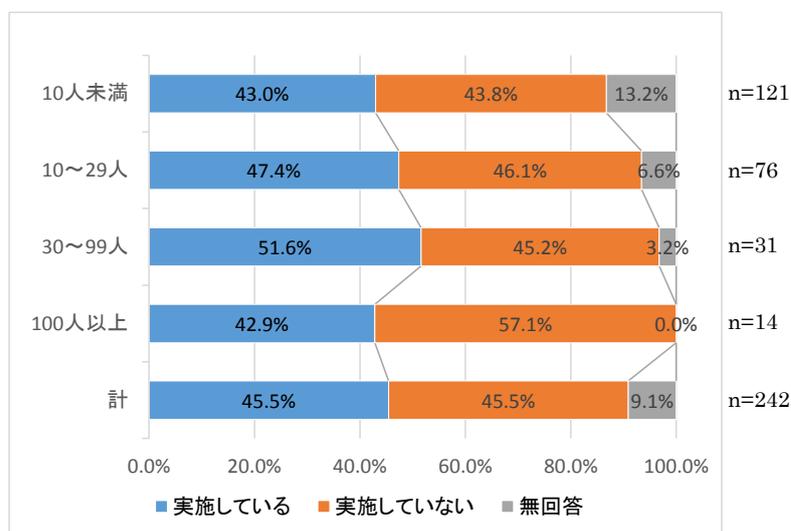
週休2日制は、全体で45.5%の企業が実施している。正規従業員の規模別に見ると、100人以上の企業で週休2日制を実施していない割合が高い傾向がみられる。（図2-13）

表2-1 正規従業員の規模別 正規従業員の平均労働時間

	10人未満	10～29人	30～99人	100人以上	全体平均
1週の所定労働時間 (休憩時間を除く)	42.3	39.8	39.5	40.7	41.0
1ヶ月の平均時間外 勤務時間	9.5	13.1	16.3	26.4	13.0
サンプル数	121	76	31	14	242

資料：企業アンケート調査

図2-13 正規従業員の規模別 週休2日制の実施状況

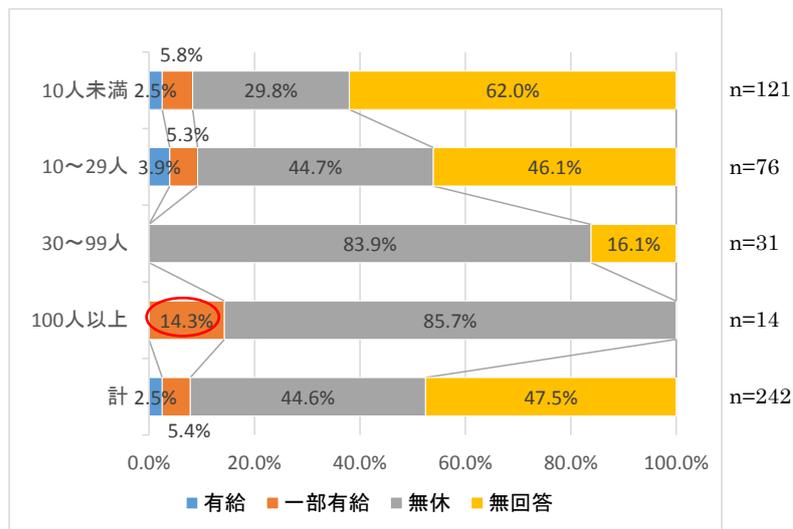


資料：企業アンケート調査

育児休業中の賃金の取り扱いについては、全体で44.6%の企業が「無給」である結果となった。正規従業員の規模別に見ると、100人以上の企業で「一部有給」の割合が高い傾向がみられる。(図2-14)

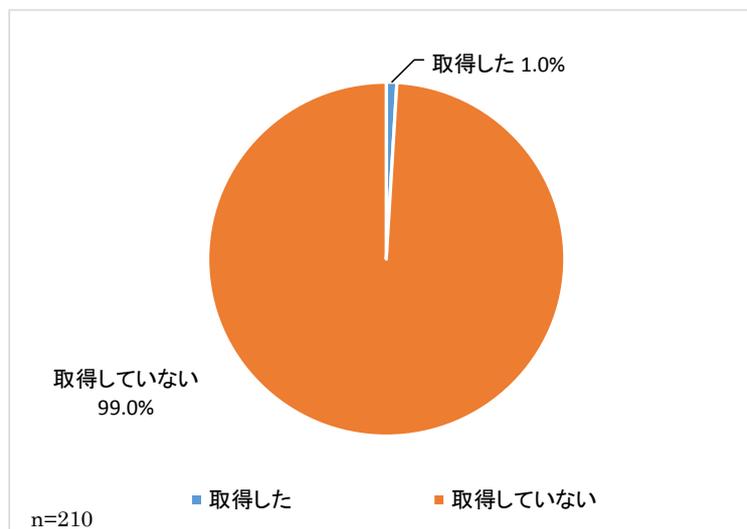
育児休業を取得した男性従業員は、対象者全体で1.0% (計2人) の取得に留まる結果となった。なお、取得者がいる企業は正規従業員の規模が10~29人の企業1社(9.1%)のみであった。(図2-15)

図2-14 正規従業員の規模別 育児休業中の賃金の取り扱い



資料：企業アンケート調査

図2-15 育児休業取得状況 (男性)

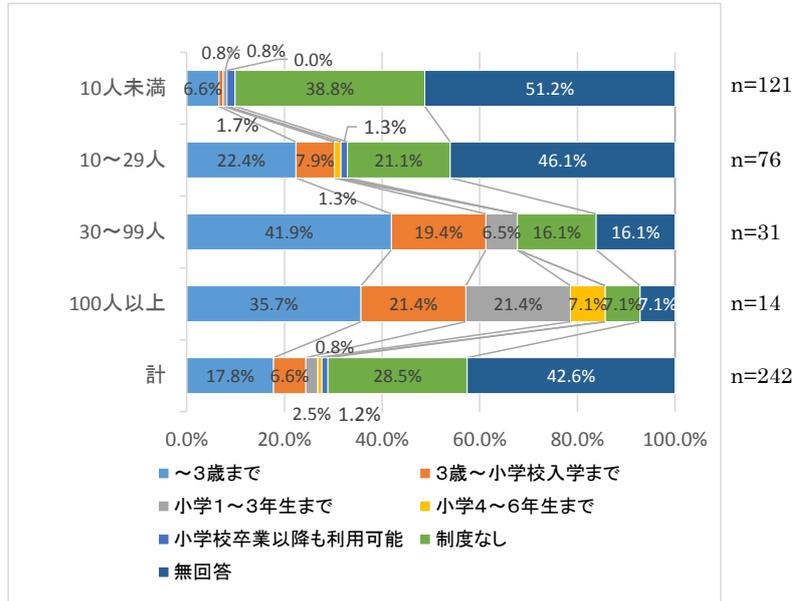


(対象者に占める取得者の割合)

資料：企業アンケート調査

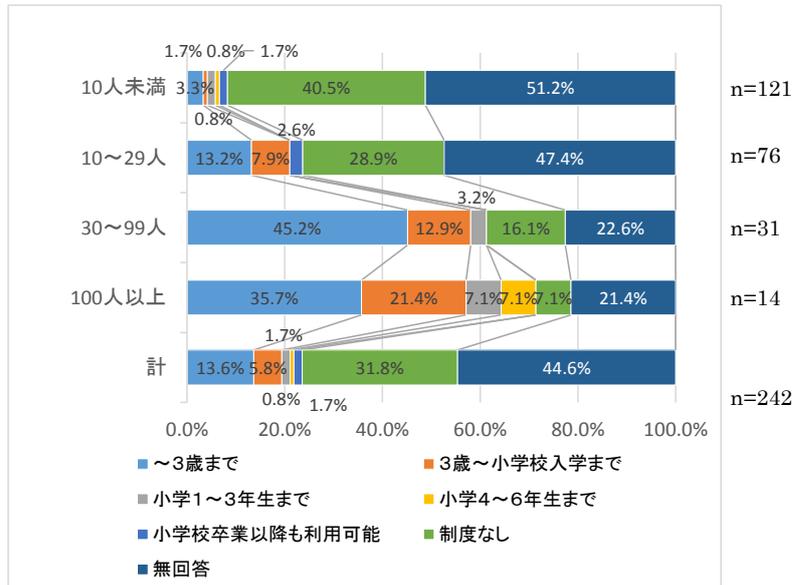
育児のための諸制度の実施状況を見ると、正規従業員の規模が大きいほど制度が充実する傾向がみられる。(図 2-16～図 2-19)

図 2-16 正規従業員の規模別 育児のための短時間勤務制度



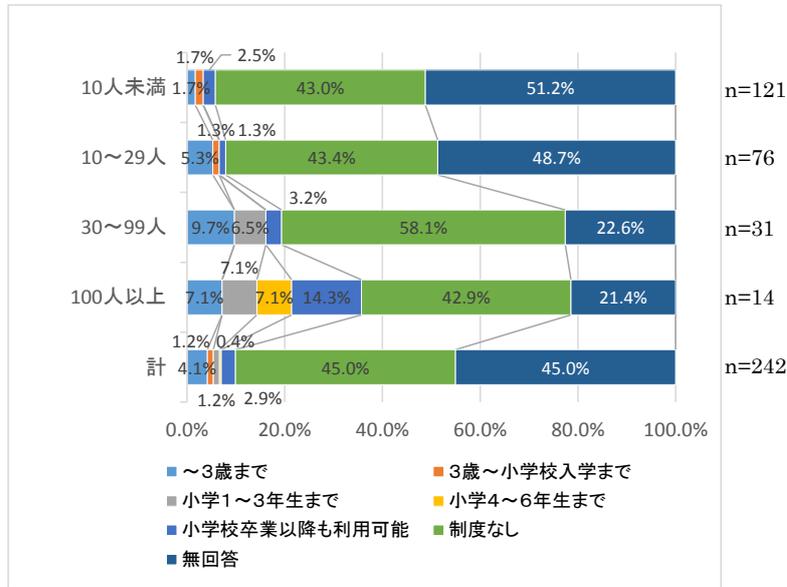
資料：企業アンケート調査

図 2-17 正規従業員の規模別 育児のための所定外労働の免除制度



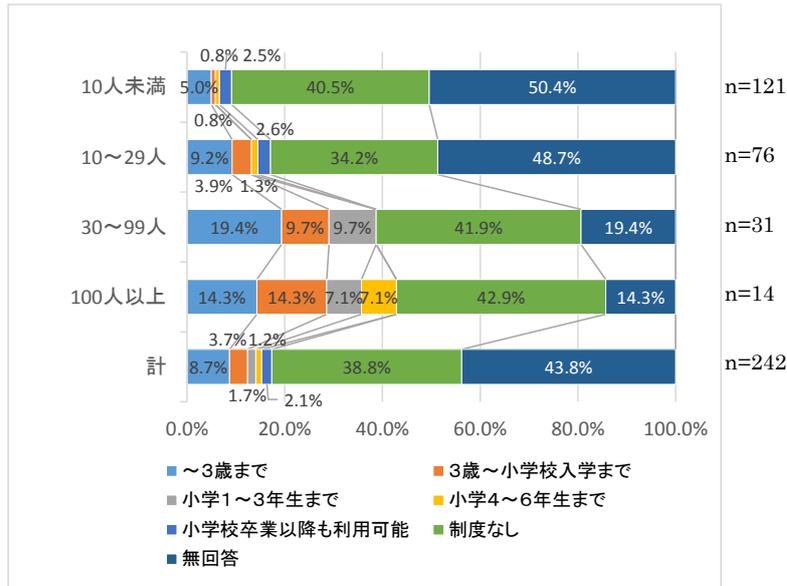
資料：企業アンケート調査

図 2-18 正規従業員の規模別 育児の場合に利用できるフレックスタイム制度



資料：企業アンケート調査

図 2-19 正規従業員の規模別 育児のための始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度



資料：企業アンケート調査

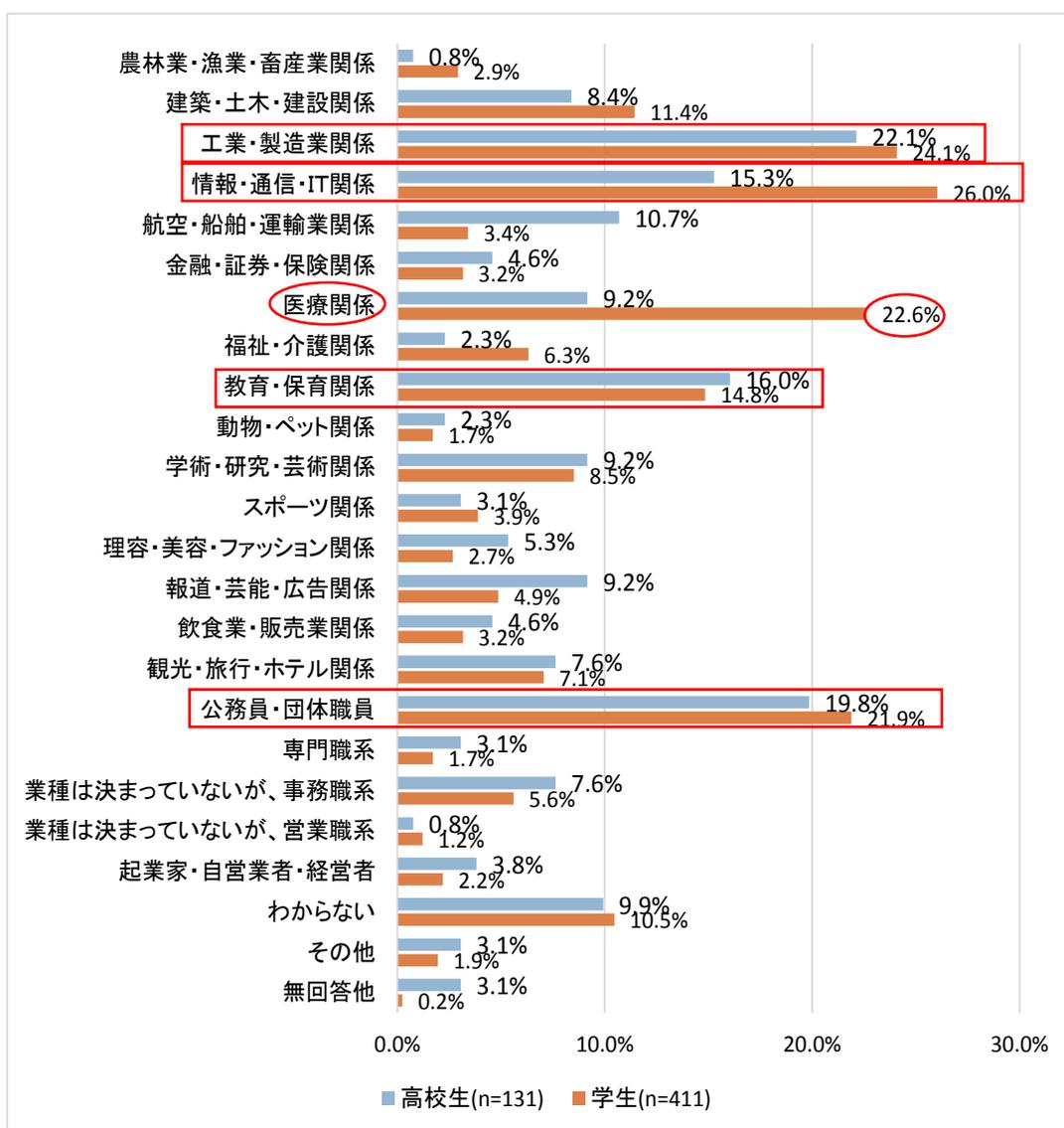
### (3) 就職希望業種（高校生・学生）

高校生アンケートでは、「製造業関係」の割合が 22.1%と最も高く、「公務員・団体職員」(19.8%)、「教育・保育関係」(16.0%)、「I T 関係」(15.3%) 等と続く結果となった。(図 2-20)

学生アンケートでは、「I T 関係」の割合が 26.0%と最も高く、「製造業関係」(24.1%)、「医療関係」(22.6%)、「公務員・団体職員」(21.9%) 等と続く結果となった。また、高校生アンケートに比べ、「医療関係」の割合が高い傾向がみられた。(図 2-20)

一方、本市の産業（大分類）別就業者（従業地）を整理すると、高校生や学生で希望が多い「製造業」の就業者が著しく多い一方、「情報通信業」や「公務」の就業者が著しく少ない結果となっている。(図 2-21)

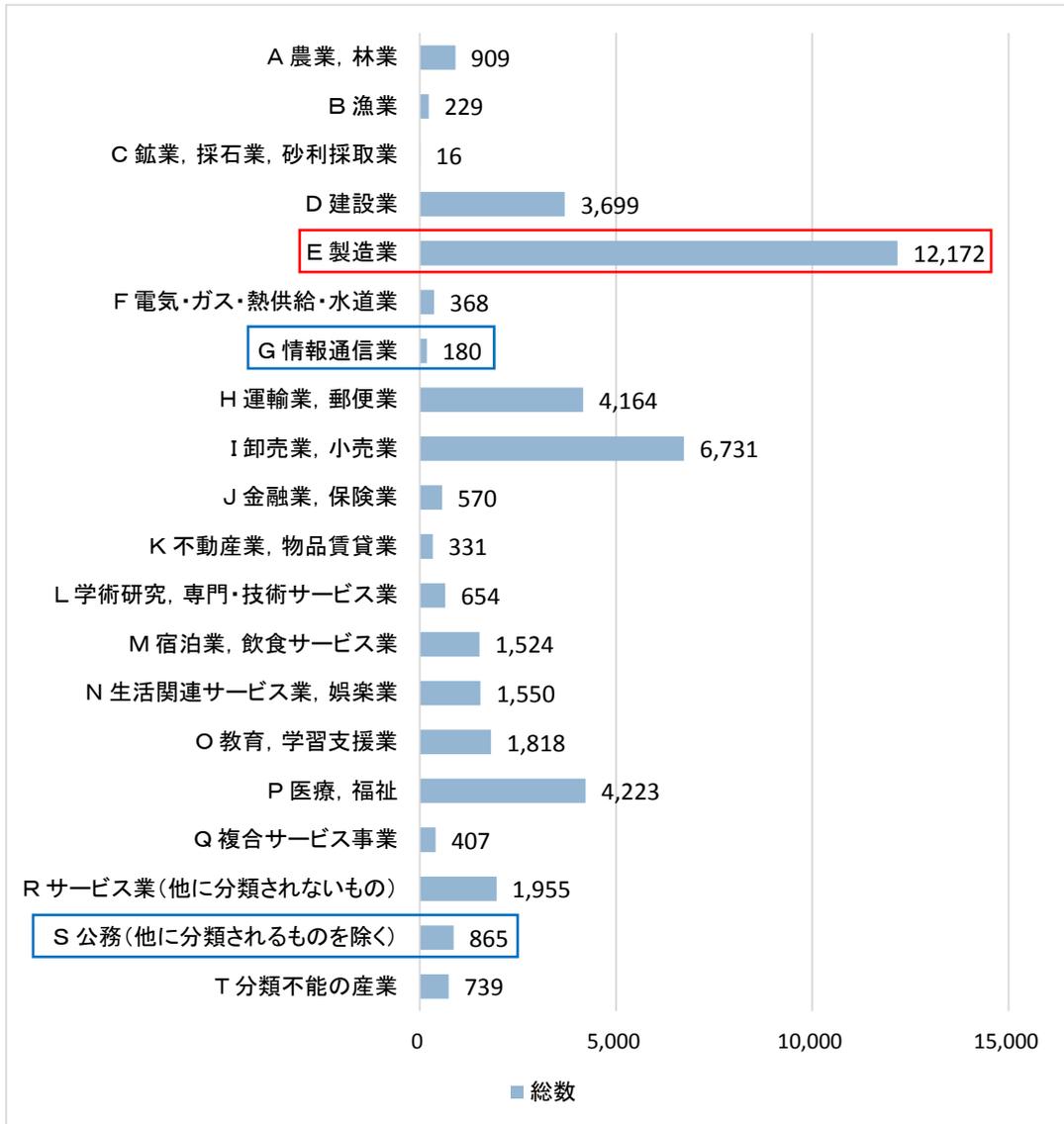
図 2-20 就職希望業種（高校生）（学生）



(複数回答)

資料：高校生アンケート調査  
資料：学生アンケート調査

図 2-21 射水市の産業(大分類)別 就業者数(従業地)



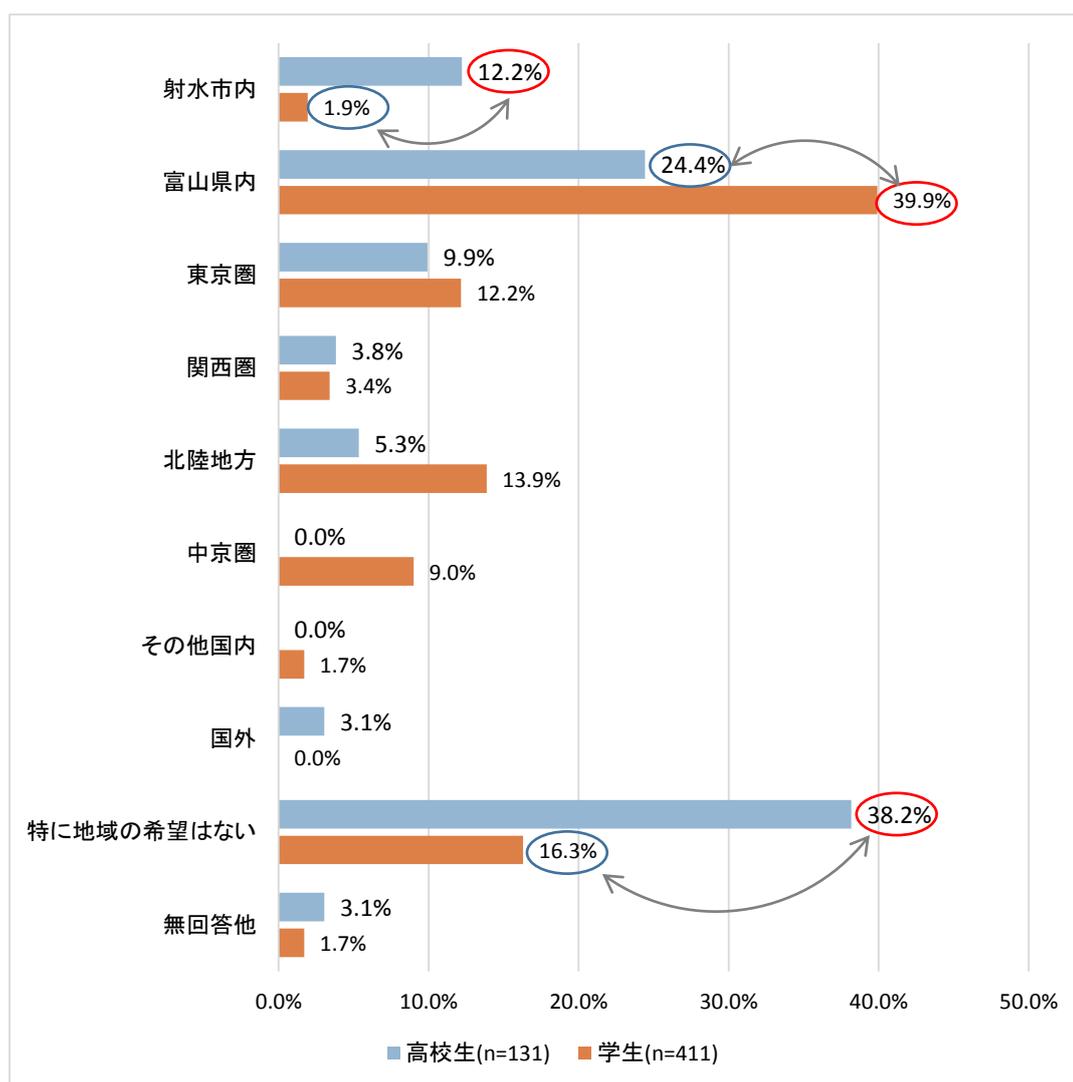
資料：国勢調査（平成 22 年）

#### (4) 就職希望地域

高校生アンケートでは、「希望なし」の割合が38.2%と最も高く、「富山県内」(24.4%)、「射水市内」(12.2%)、「東京圏」(9.9%)等と続く結果となった。学生アンケートに比べ、特に「希望なし」の割合が著しく高いことが特徴となっている。(図 2-22)

学生アンケートでは、「富山県内」の割合が39.9%と最も高く、「希望なし」(16.3%)、「北陸地方」(13.9%)、「東京圏」(12.2%)等と続く結果となった。高校生アンケートに比べ、「富山県内」の割合が高いこと、「射水市内」の割合が低いことが特徴となっている。(図 2-22)

図 2-22 就職希望地域 (高校生) (学生)



(単数回答)

資料：高校生アンケート調査  
資料：学生アンケート調査

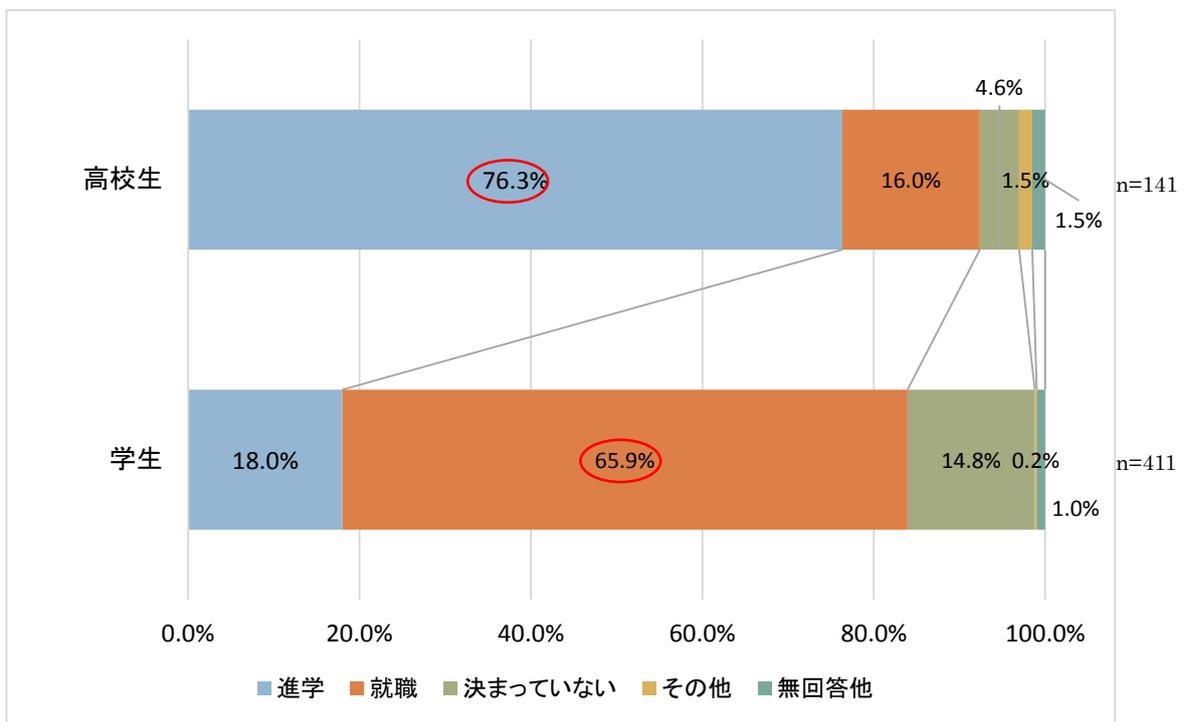
### 3 進学希望

#### (1) 卒業後の進路希望（高校生・学生）

高校生アンケートでは、「進学」の割合が76.3%と最も高く、「就職」(16.0%)、「未定」(4.6%)と続く結果となった。(図 2-23)

学生アンケートでは、「就職」の割合が65.9%と最も高く、「進学」(18.0%)、「未定」(14.8%)等と続く結果となった。(図 2-23)

図 2-23 卒業後の進路希望（高校生）（学生）



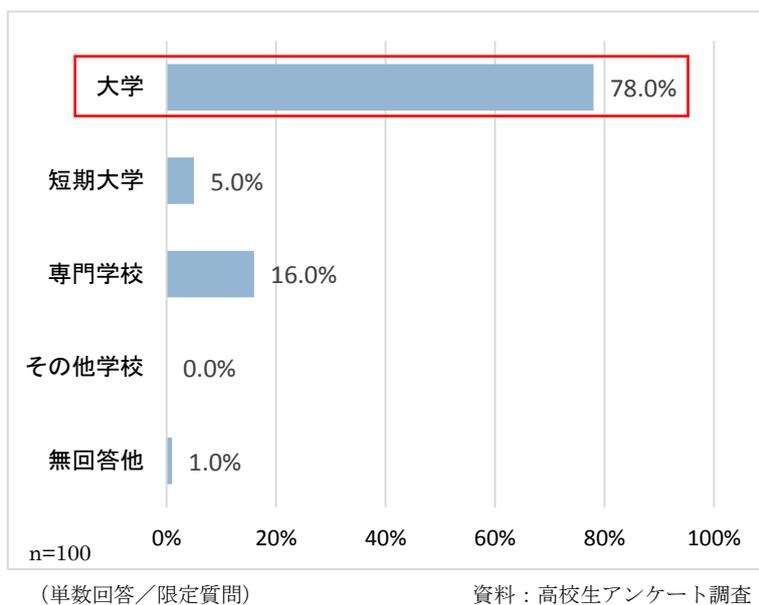
(単数回答)

資料：高校生アンケート調査  
資料：学生アンケート調査

## (2) 進学希望先（高校生）

「大学」の割合が78.0%と最も高く、「専門学校」(16.0%)、「短期大学」(5.0%)等と続く結果となった。(図2-24)

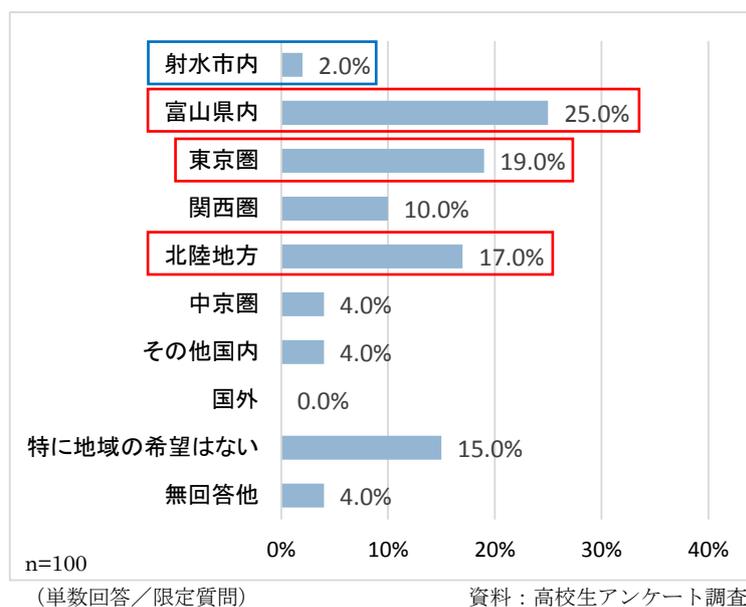
図2-24 進学希望先（高校生）



## (3) 進学希望先の所在地（高校生）

「県内」の割合が25.0%と最も高く、「東京圏」(19.0%)、「北陸地方」(17.0%)等と続く結果となった。「射水市内」は2.0%に留まる結果となった。(図2-25)

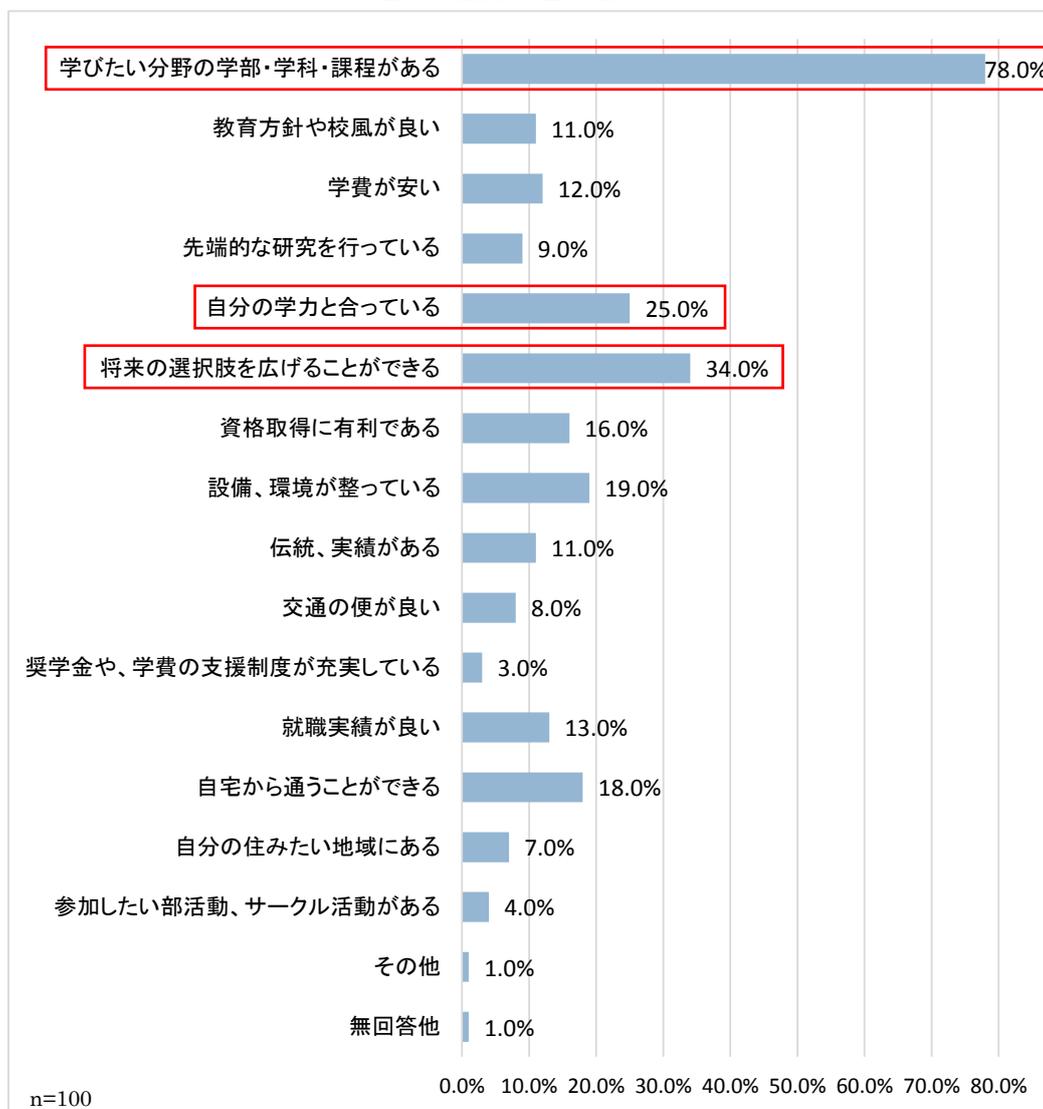
図2-25 進学希望先の所在地（高校生）



#### (4) 進学希望先の選択理由（高校生）

「学びたい分野の学部等がある」の割合が 78.0%と最も高く、「将来の選択肢を広げることが可能」(34.0%)、「自分の学力と合っている」(25.0%) 等と続く結果となった。(図 2-26)

図 2-26 進学希望先の選択理由（高校生）



(複数回答/限定質問)

資料：高校生アンケート調査

## 4 結婚

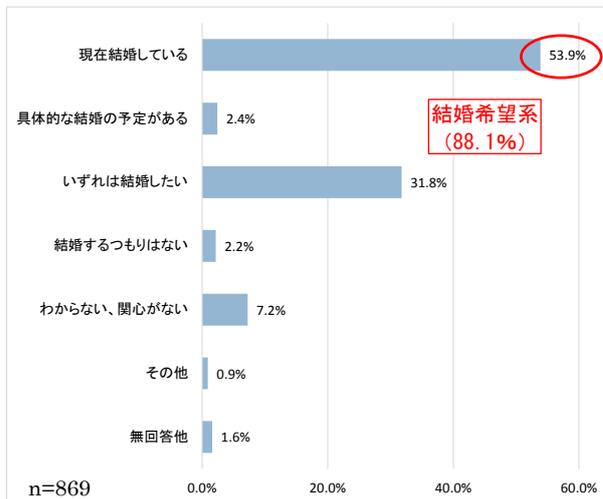
### (1) 結婚希望

市民アンケートでは、「既婚者」の割合が 53.9%と最も多い。また、結婚希望系（「既婚者」＋「結婚予定」＋「結婚希望」）の割合は 88.1 と他のアンケートに比べ高い（図 2-27）。「結婚希望者」の結婚希望年齢は、「25～29 歳まで」の割合が 30.4%と最も多く、「30～34 歳まで」（29.7%）等と続く結果となった。（図 2-28）

高校生アンケートでは、結婚希望系の割合が 80.9%となった。また、結婚希望年齢は、「時期不明」の割合が 32.1%と最も多く、「25 歳まで」（26.7%）等と続く。（図 2-29）

学生アンケートでは、結婚希望系の割合が 84.0%となった。また、結婚希望年齢は、「25 歳まで」の割合が 33.6%と最も多い結果となった。（図 2-30）

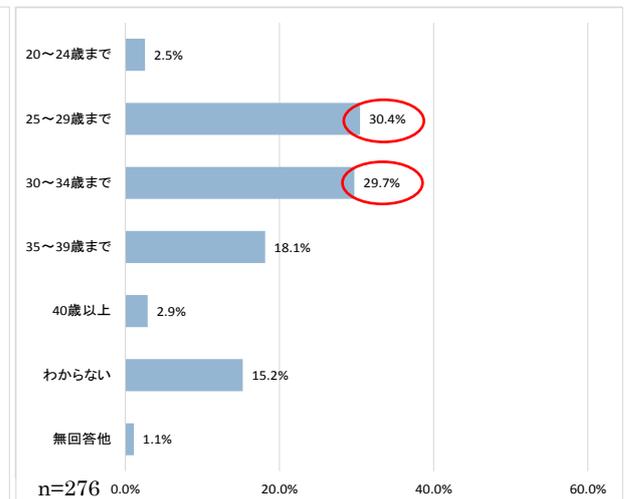
図 2-27 結婚希望（市民）



(単数回答)

資料：市民アンケート調査

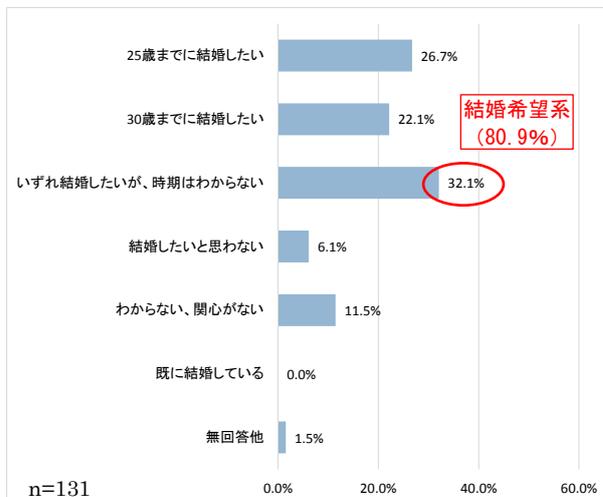
図 2-28 結婚希望年齢（市民）



(単数回答/限定質問)

資料：市民アンケート調査

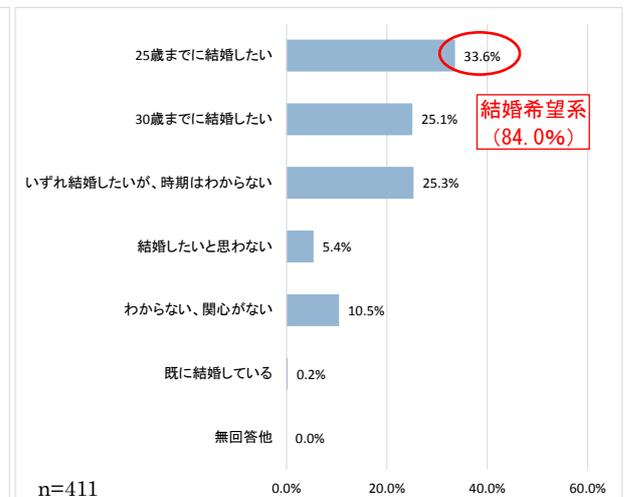
図 2-29 結婚希望（高校生）



(単数回答)

資料：高校生アンケート調査

図 2-30 結婚希望（学生）



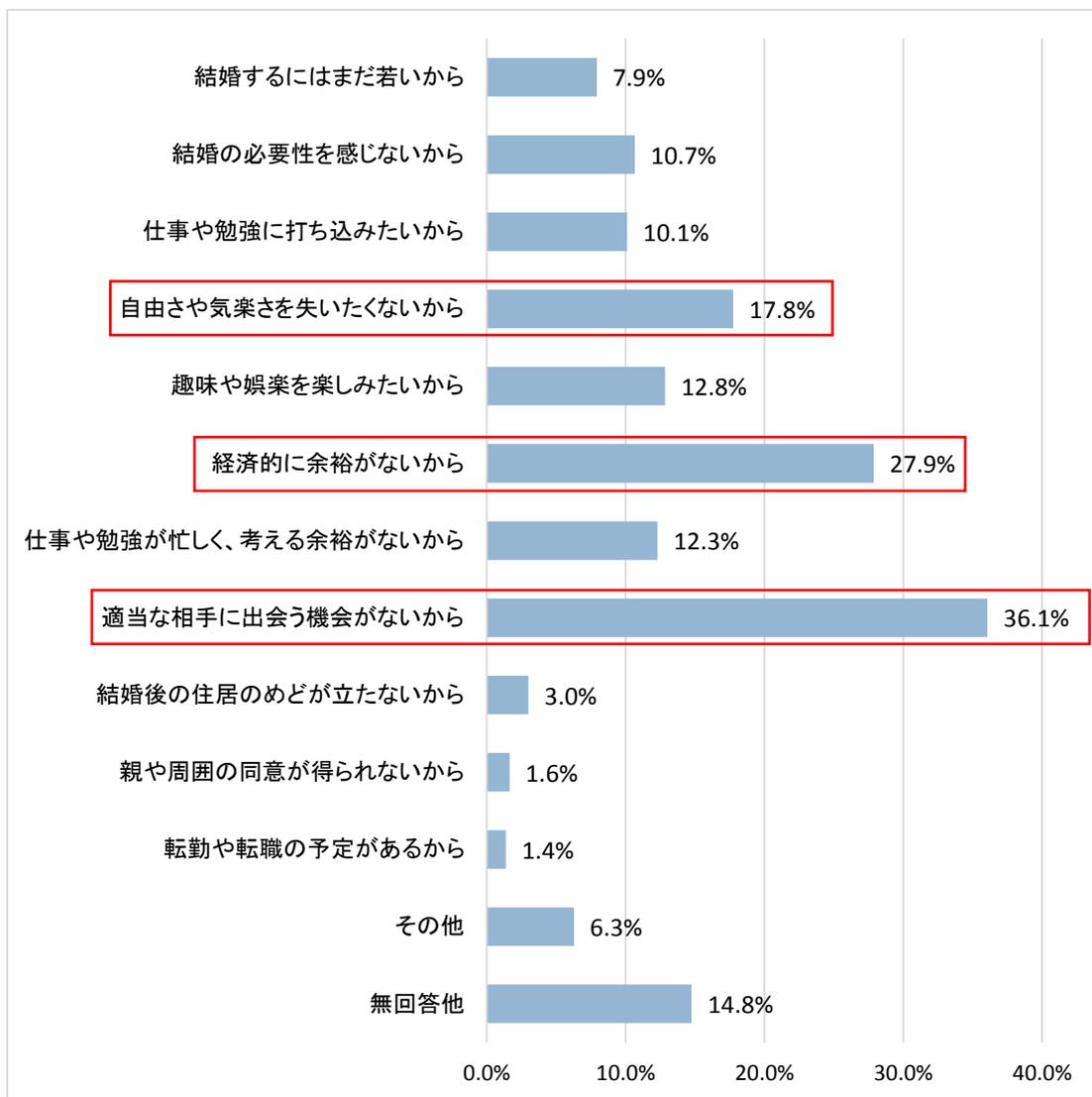
(単数回答)

資料：学生アンケート調査

## (2) 結婚していない、希望しない理由（市民）

「出会いの機会の不足」の割合が36.1%と最も多く、「経済的余裕」（27.9%）、「自由さ等を失いたくない」（17.8%）等と続く結果となった。（図2-31）

図2-31 結婚しない理由（市民）



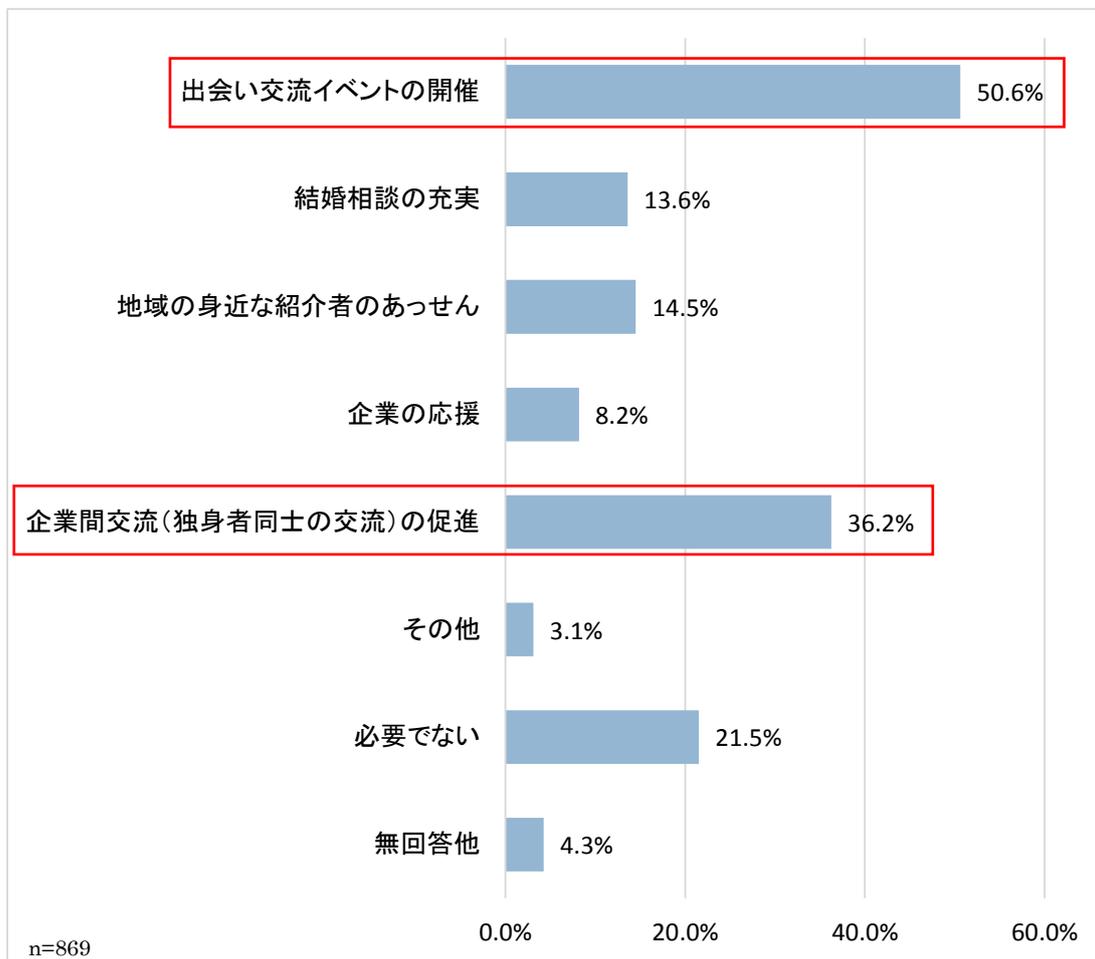
（複数回答／限定質問）

資料：市民アンケート調査

### (3) 必要な婚活施策

「出会い交流イベントの開催」の割合が 50.6%と最も多く、「企業間交流の促進」(36.2%)等と続く結果となった。(図 2-32)

図 2-32 必要な婚活施策 (市民)



(複数回答)

資料：市民アンケート調査

## 5 子育て

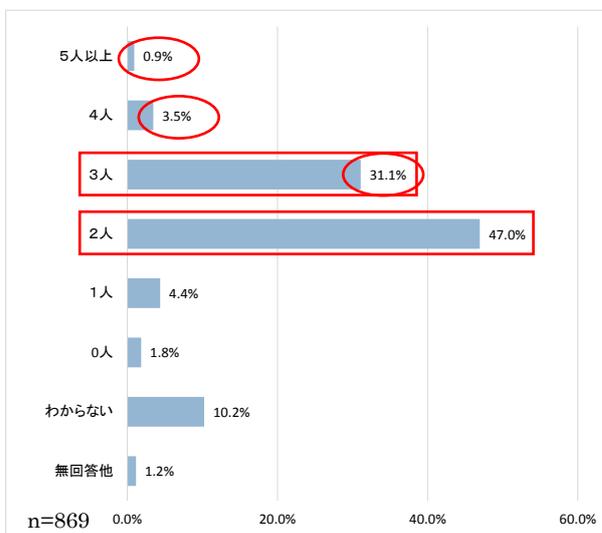
### (1) 理想の子ども数

市民アンケートでは、「2人」の割合が47.0%と最も多く、「3人」(31.1%)等と続く結果となった。また、他のアンケートに比べ、「3人以上」の割合が高い傾向がみられた。(図2-33)

高校生アンケートでは、「2人」の割合が50.4%と最も多く、「3人」(15.3%)等と続く結果となった。(図2-34)

学生アンケートでは、「2人」の割合が52.3%と最も多く、「3人」(17.8%)等と続く結果となった。(図2-35)

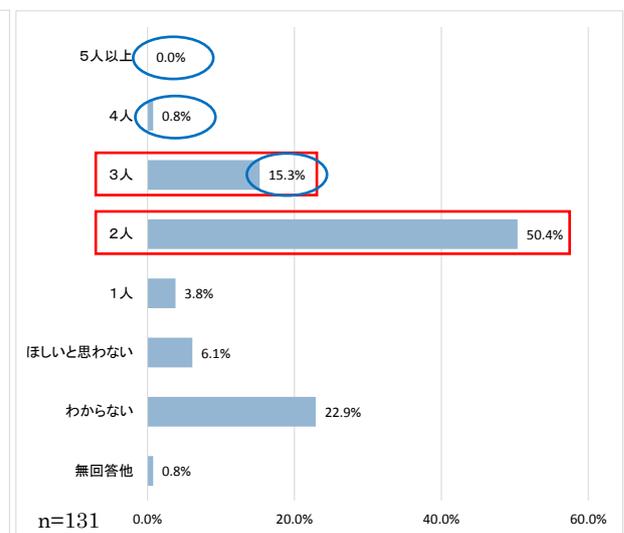
図2-33 理想の子ども数（市民）



(単数回答)

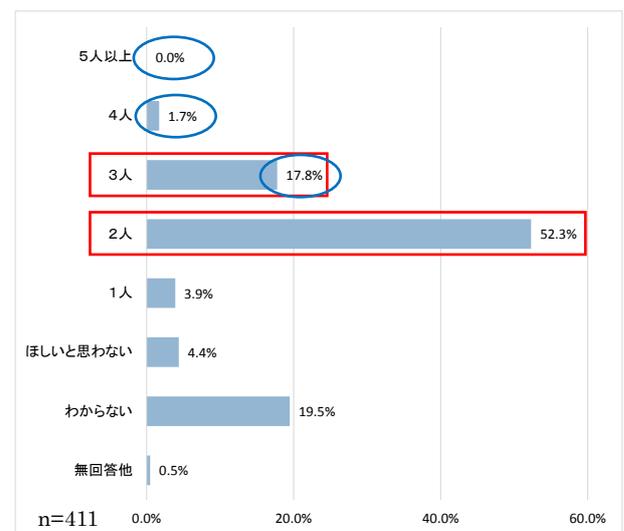
資料：市民アンケート調査

図2-34 理想の子ども数（高校生）



資料：高校生アンケート調査

図2-35 理想の子ども数（学生）



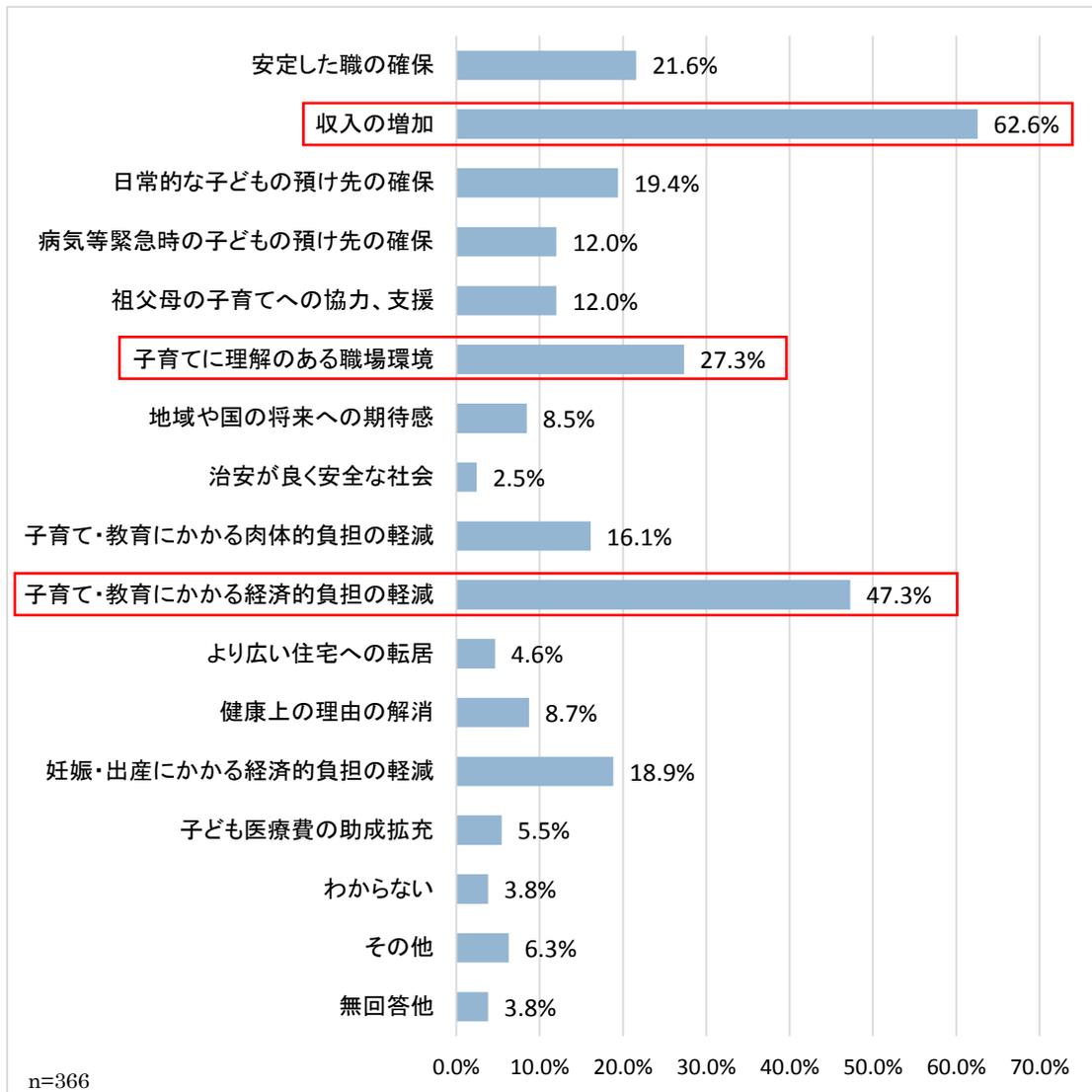
(単数回答)

資料：学生アンケート調査

## (2) 理想の子ども数を実現するために必要なこと（市民）

「収入の増加」の割合が62.6%と最も多く、「子育て・教育にかかる経済的負担の軽減」(47.3%)、「子育てに理解のある職場環境」(27.3%)等と続く結果となった。(図2-36)

図2-36 理想の子ども数を実現するために必要なこと（市民）



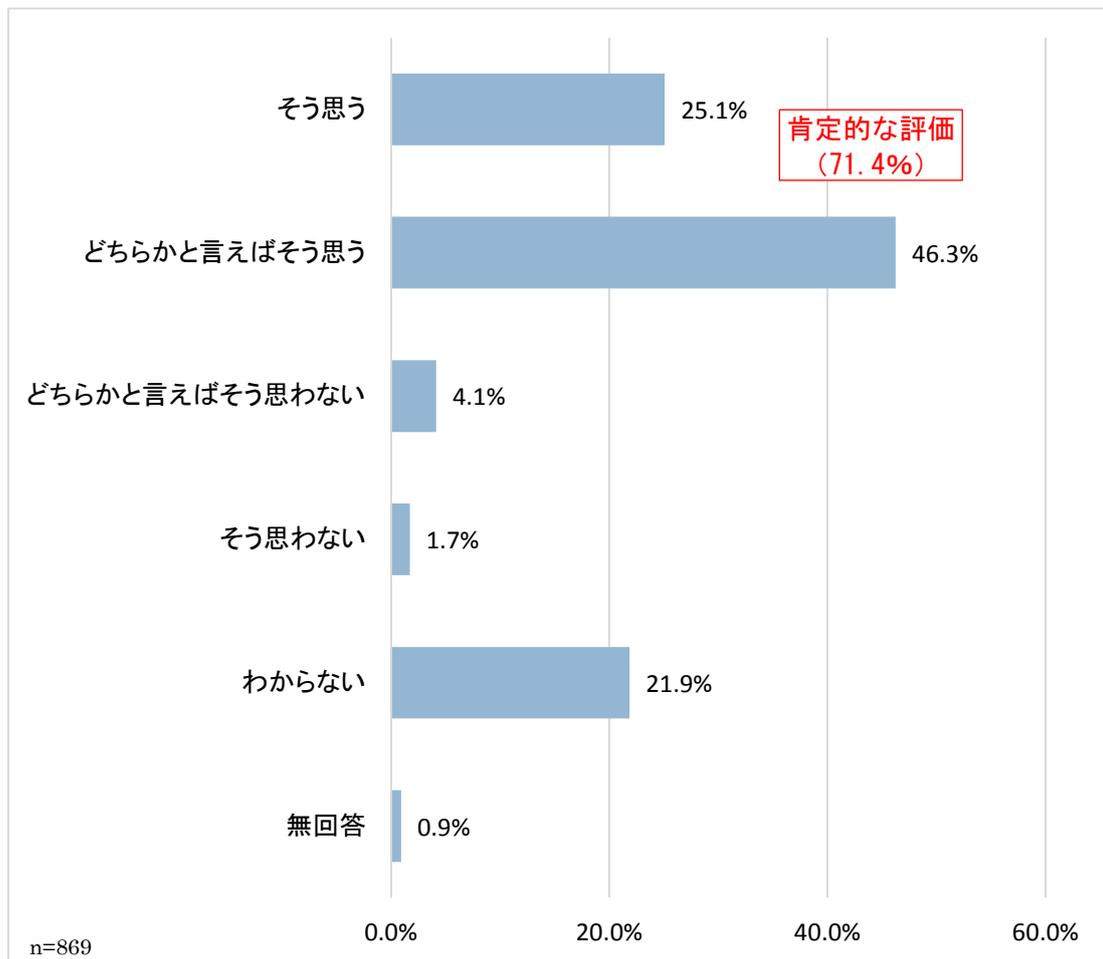
(複数回答/限定質問)

資料：市民アンケート調査

### (3) 射水市に対する子育てしやすさの評価（市民）

「射水市が子育てしやすいまちか」という設問に対しては、「肯定的な評価」（「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）の割合が71.4%と高い結果となった。（図 2-37）

図 2-37 射水市に対する子育てしやすさの評価（市民）



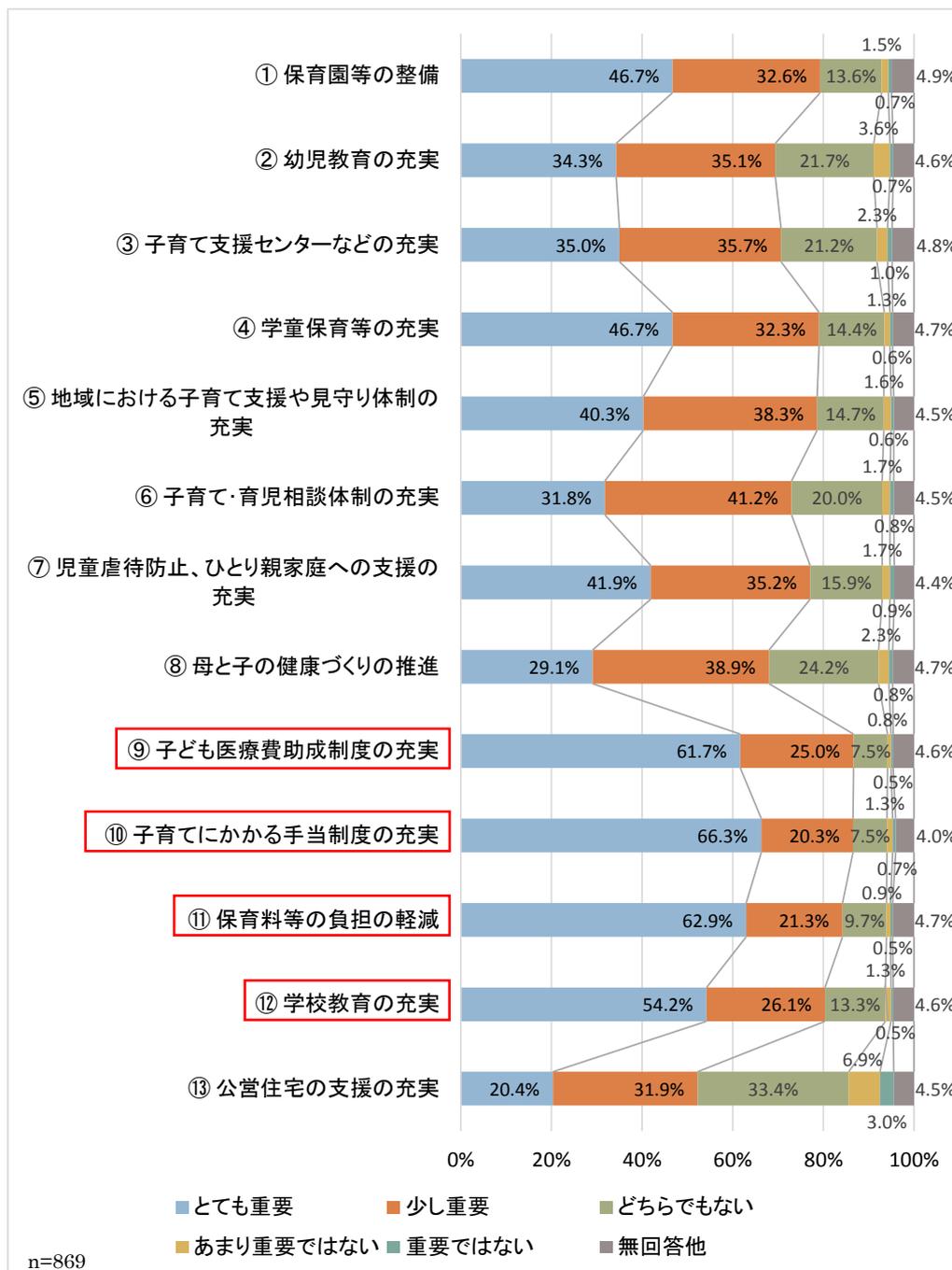
（単数回答）

資料：市民アンケート調査

#### (4) 子育て支援として重要となる施策（市民）

「とても重要」と回答した割合を比較すると、「子育てにかかる手当制度の充実」が66.3%と最も高く、「保育料等の負担の軽減」(62.9%)、「子ども医療費助成制度の充実」(61.7%)、「学校教育の充実」(54.2%)等と続く結果となった。このように、市民は、子育て支援策の中でも特に経済的支援策を望んでいることがわかる。(図 2-38)

図 2-38 子育て支援として重要となる施策（市民）



(単数回答)

資料：市民アンケート調査

## 6 市のイメージ

### (1) 市への愛着

市民アンケートでは、「好き系」（「とても好き」＋「好き」）の割合が69.6%となった。（図2-39）

高校生アンケートでは、「好き系」の割合が78.6%と、他のアンケートに比べ高い傾向がみられた。（図2-40）

学生アンケートでは、「好き系」の割合が44.0%と、他のアンケートに比べ著しく低い傾向がみられた。（図2-41）

図2-39 市への愛着（市民）

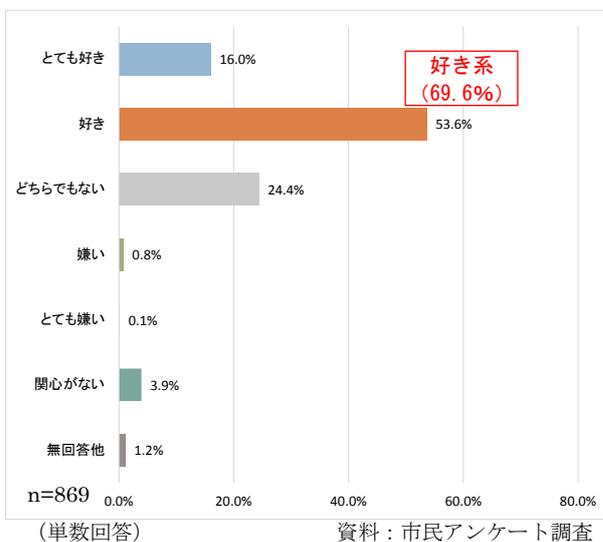


図2-40 市への愛着（高校生）

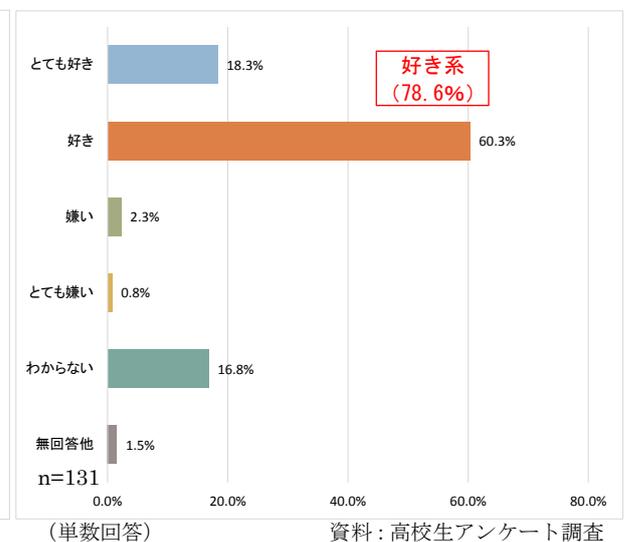
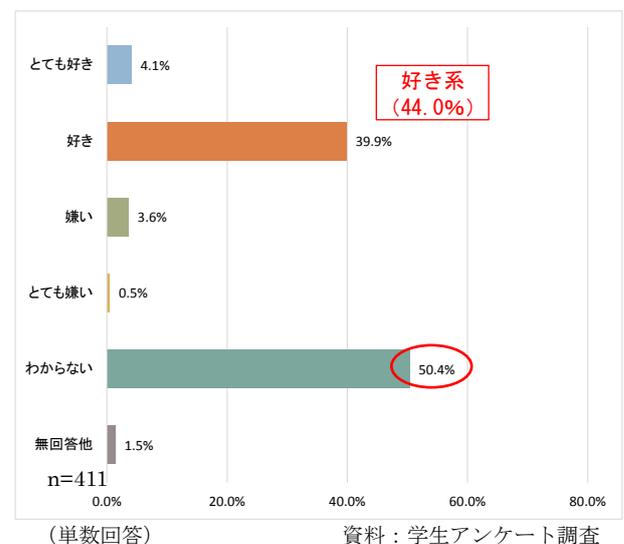
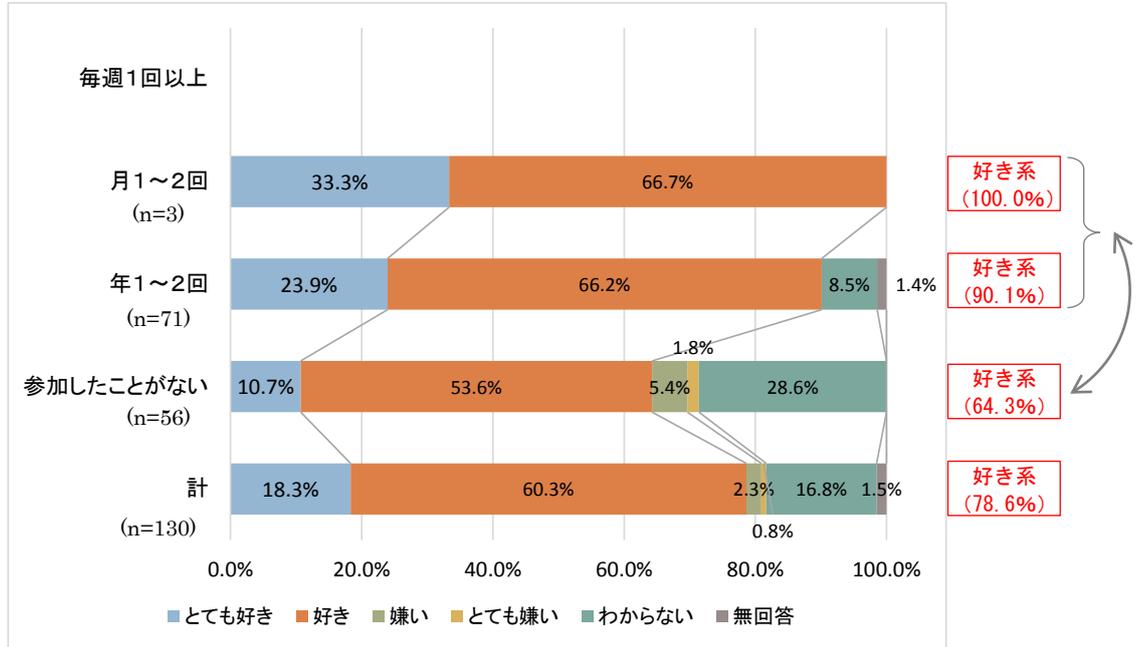


図2-41 市への愛着（学生）



地域活動への参加状況別に見ると、高校生及び学生ともに、地域活動への参加頻度が高いほど、市への愛着度が高い傾向がみられた。(図 2-42) (図 2-43)

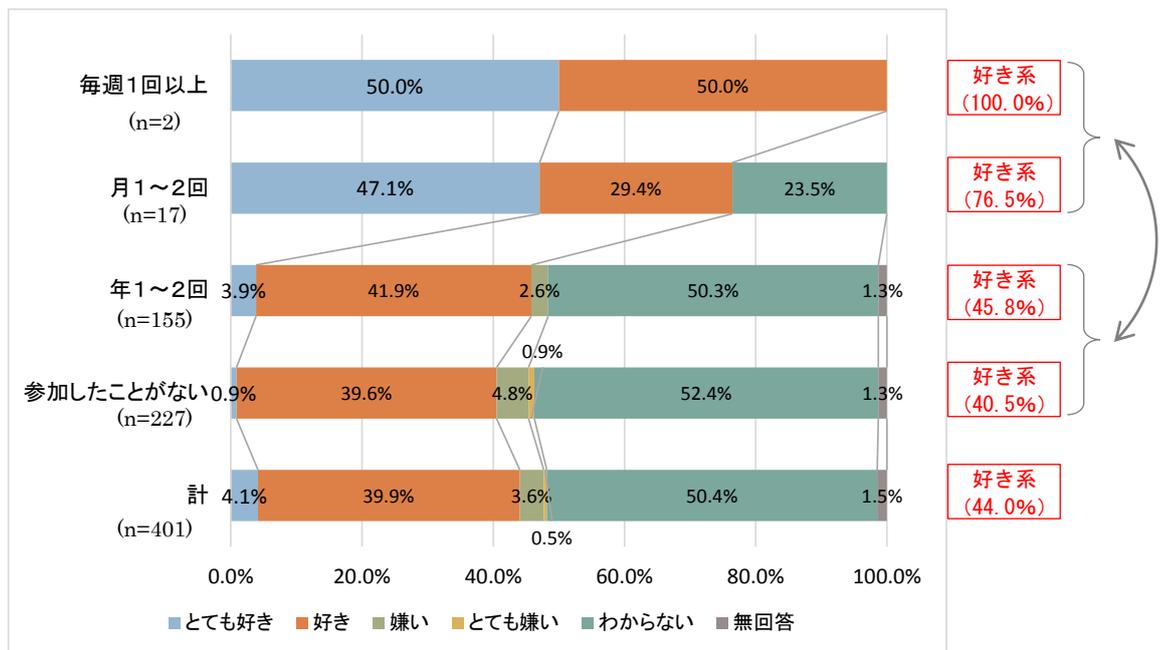
図 2-42 地域活動への参加状況別 市への愛着 (高校生)



(単数回答)

資料：高校生アンケート調査

図 2-43 地域活動への参加状況別 市への愛着 (学生)



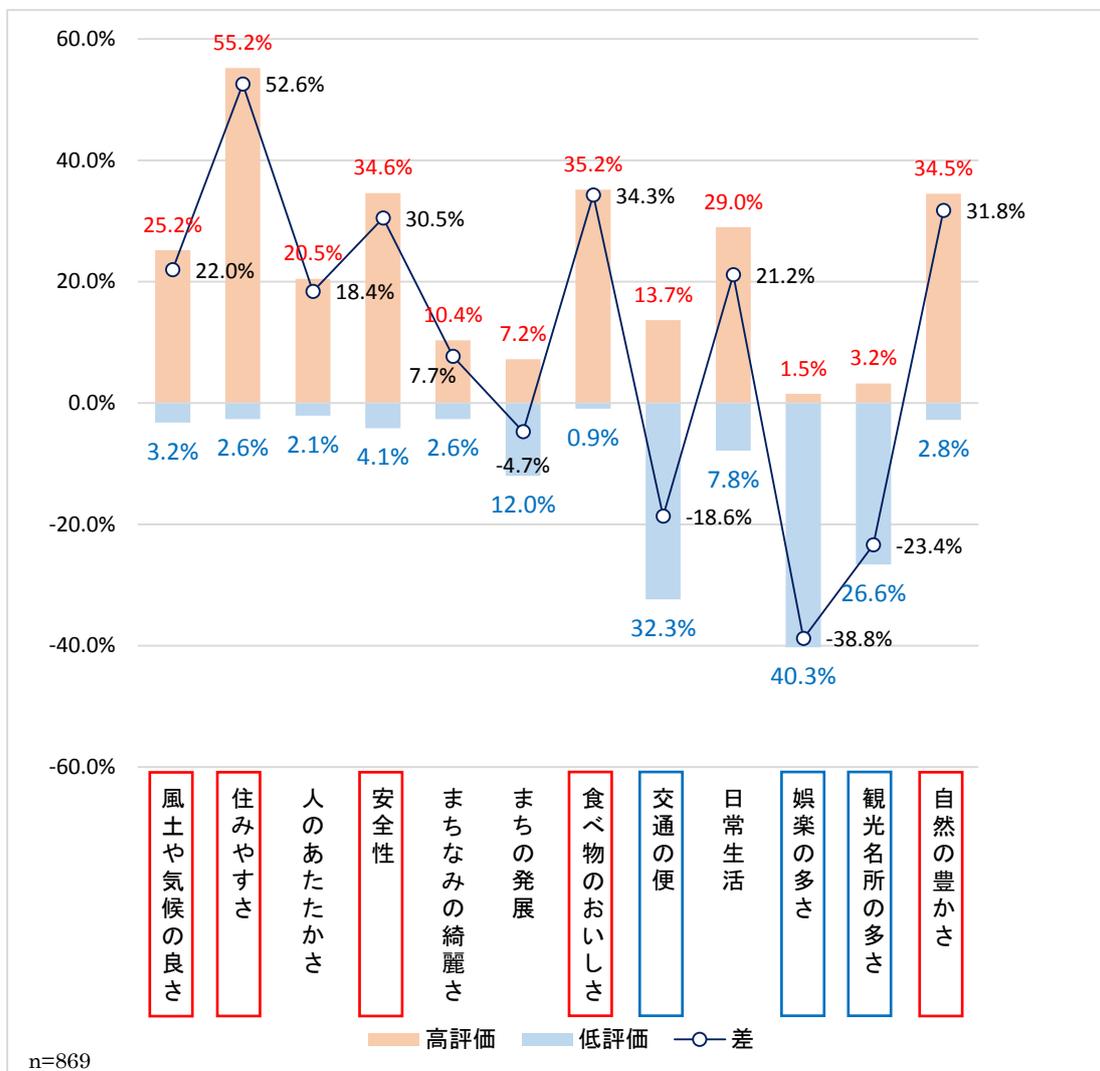
(単数回答)

資料：学生アンケート調査

## (2) 市の印象・イメージ

「住みやすさ」や「食べ物のおいしさ」、「自然の豊かさ」、「安全性」で評価が高い一方、「娯楽の多さ」や「観光名所の多さ」、「交通の便」等で評価が低い結果となった。(図 2-44)

図 2-44 市の印象・イメージ (市民)



(複数回答)

資料：市民アンケート調査

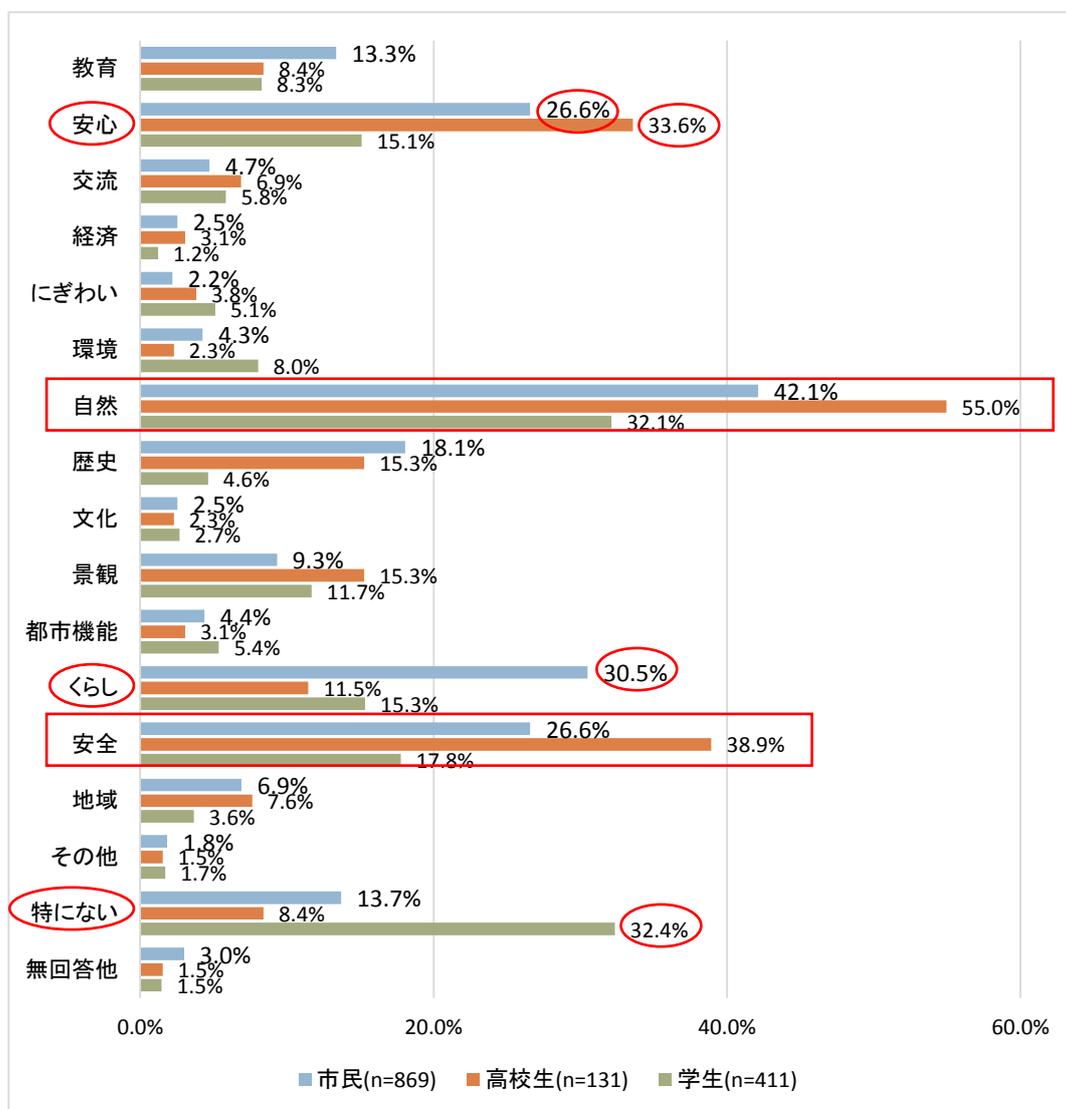
### (3) 市の魅力

市民アンケートでは、「自然」の割合が42.1%と最も高く、「暮らし」(30.5%)、「安心」・「安全」(各26.6%)等と続く結果となった。他のアンケートに比べ、特に「暮らし」の割合が高い結果となった。(図2-45)

高校生アンケートでは、「自然」の割合が55.0%と最も高く、「安全」(38.9%)、「安心」(33.6%)等と続く結果となった。他のアンケートに比べ、特に「自然」や「安全」の割合が高い結果となった。(図2-45)

学生アンケートでは、「特にない」の割合が32.4%と最も高く、「自然」(32.1%)、「安全」(17.8%)等と続く結果となった。他のアンケートに比べ、特に「特にない」の割合が高い結果となった。(図2-45)

図2-45 市の魅力(市民)(高校生)(学生)



(複数回答)

資料：市民アンケート調査  
資料：高校生アンケート調査  
資料：学生アンケート調査

## 7. その他

### (1) 継続居住意向

継続居住意向（市民アンケート）を地区別に集計すると、継続居住意向については、各地区で大きな傾向の違いは見られなかった。（図 2-46～図 2-50）

図 2-46 継続居住意向（市民／新湊地区）

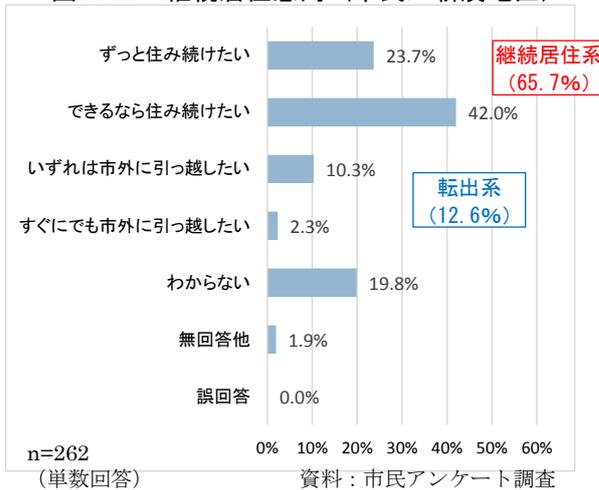


図 2-47 継続居住意向（市民／小杉地区）

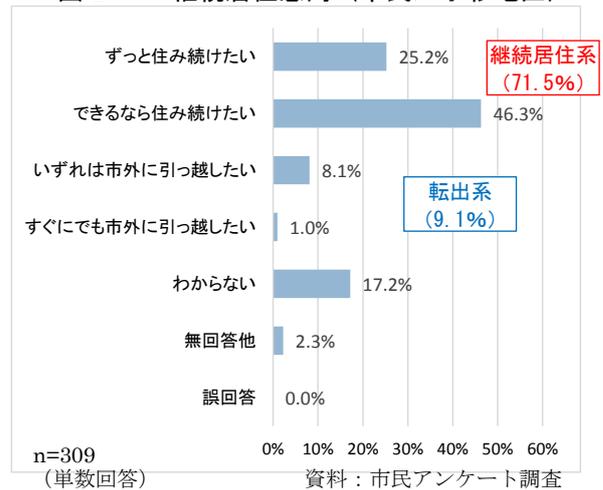


図 2-48 継続居住意向（市民／大門地区）

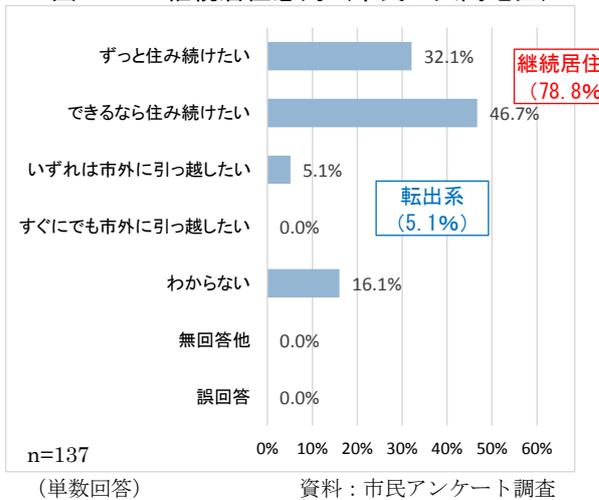


図 2-49 継続居住意向（市民／大島地区）

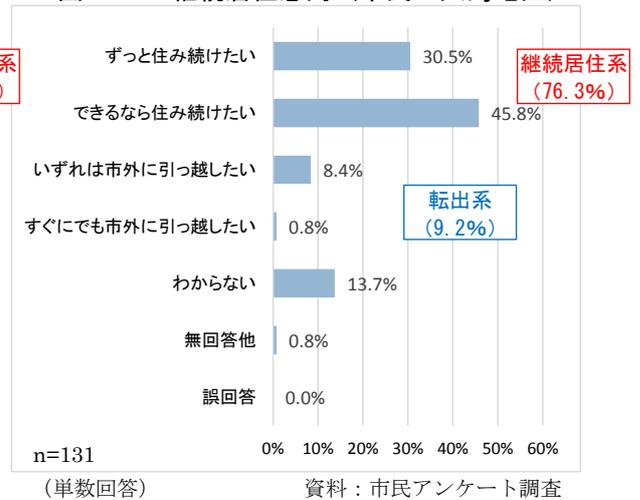
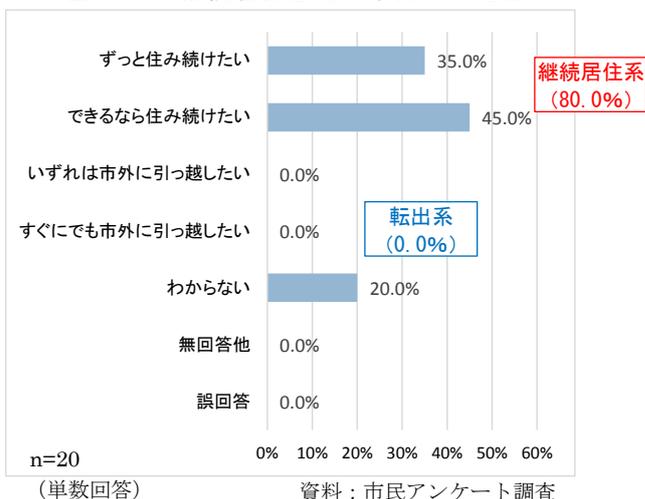


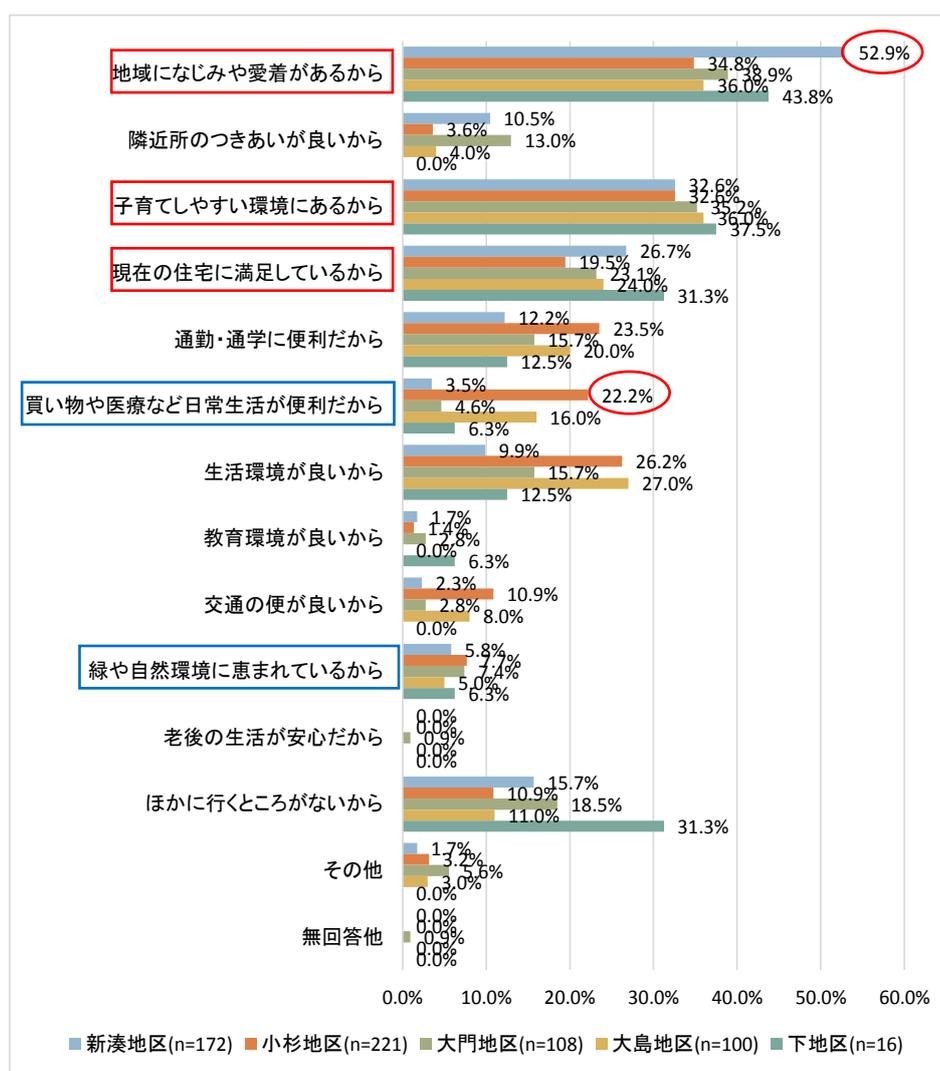
図 2-50 継続居住意向（市民／下地区）



## (2) 継続居住希望理由

継続居住希望理由（市民アンケート）を地区別に集計すると、新湊地区の「地域のなじみ・愛着」の割合が高いほか、小杉地区の「日常生活の利便性」の割合が高い傾向がみられる。（図2-51）

図 2-51 地区別 継続居住希望理由（市民）



(複数回答/限定質問)

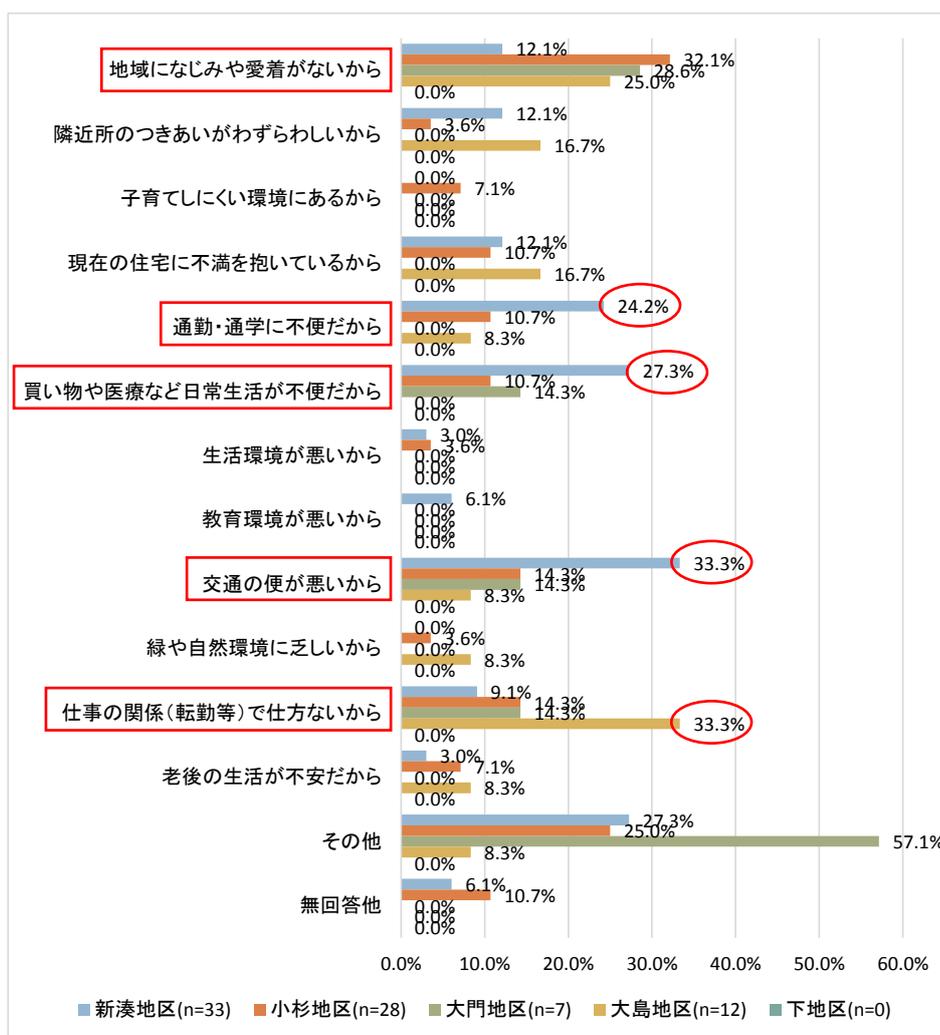
資料：市民アンケート調査

### (3) 転居希望理由

転居希望理由（市民アンケート）を地区別に集計すると、新湊地区の「通勤・通学の利便性」や「日常生活の利便性」、「交通の便」、大島地区の「仕事の関係」の割合が高い傾向がみられる。

(図 2-52)

図 2-52 地区別 転居希望理由（市民）



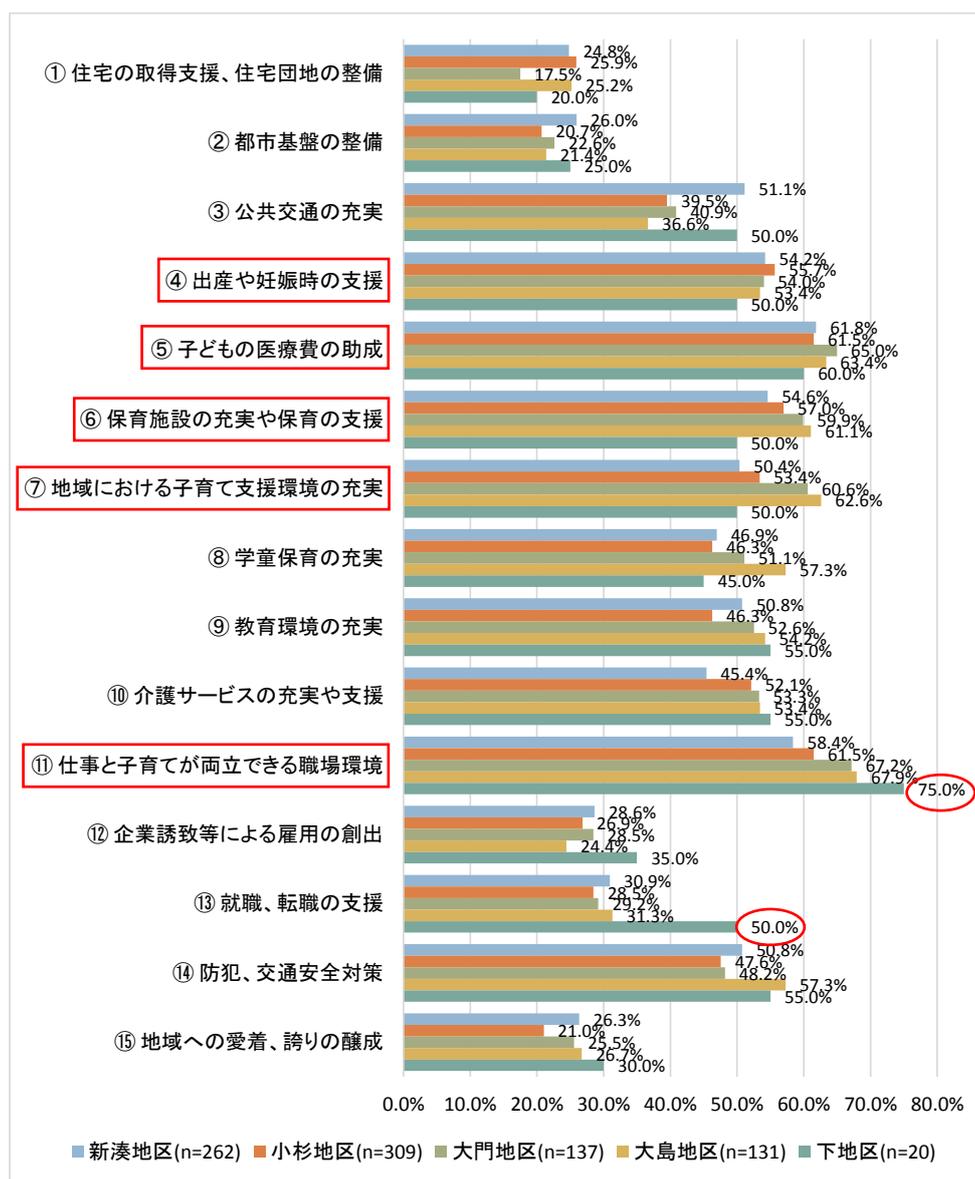
(複数回答/限定質問)

資料：市民アンケート調査

#### (4) 継続居住のために重要となる施策（市民）

継続居住のために重要となる施策（市民アンケート）について「とても重要」と回答した割合を地区別に集計すると、下地区の「仕事と子育てが両立できる職場環境」や「就職、転職の支援」の割合が高い傾向がみられる。（図 2-53）

図 2-53 地区別 継続居住のために重要となる施策（市民）（とても重要）



(単数回答)

資料：市民アンケート調査

## (5) 出生率計算因子の数値（市民）

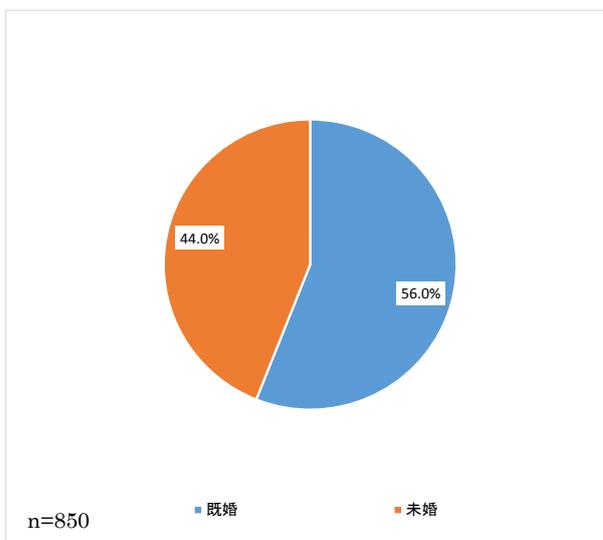
既婚者の割合は 56.0%であり、未婚者の割合は 44.0%である。（図 2-54）

既婚者の予定の子ども数は、「2人」の割合が 52.9%と最も多く、「3人」（21.4%）等と続く。（図 2-55）

既婚者の理想の子ども数は、「2人」の割合が 46.0%と最も多く、「3人」（40.3%）等と続く。（図 2-56）

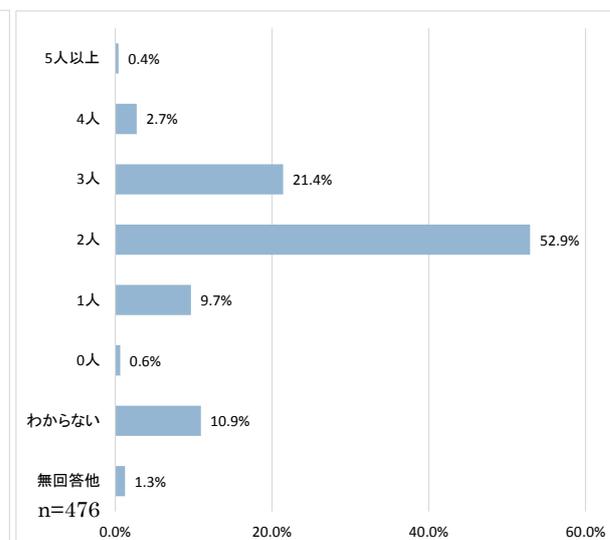
未婚者の予定の子ども数は、「2人」の割合が 48.1%と最も多く、「3人」（19.5%）等と続く。（図 2-57）

図 2-54 既婚者・未婚者の割合（市民）



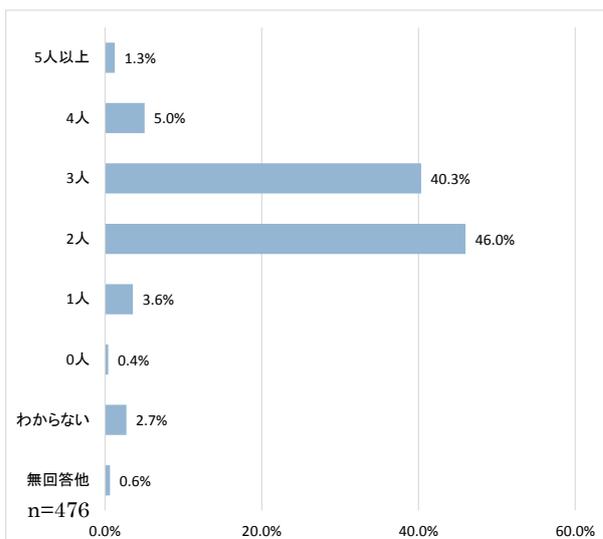
（単数回答） 資料：市民アンケート調査  
（その他、無回答等を除く）

図 2-55 既婚者の予定の子ども数（市民）



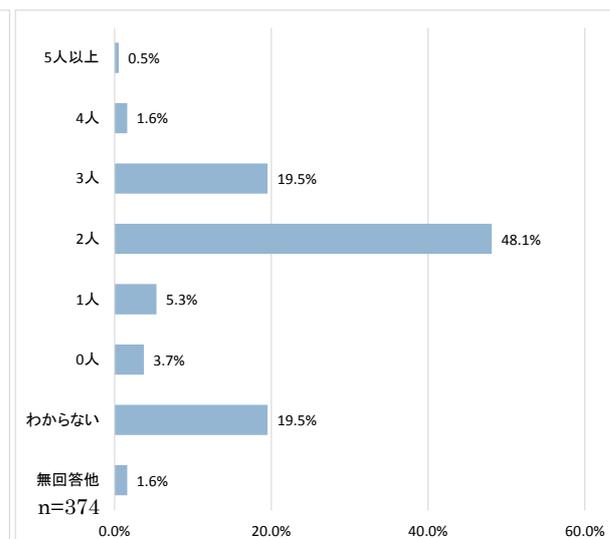
（単数回答） 資料：市民アンケート調査

図 2-56 既婚者の理想の子ども数（市民）



（単数回答） 資料：市民アンケート調査

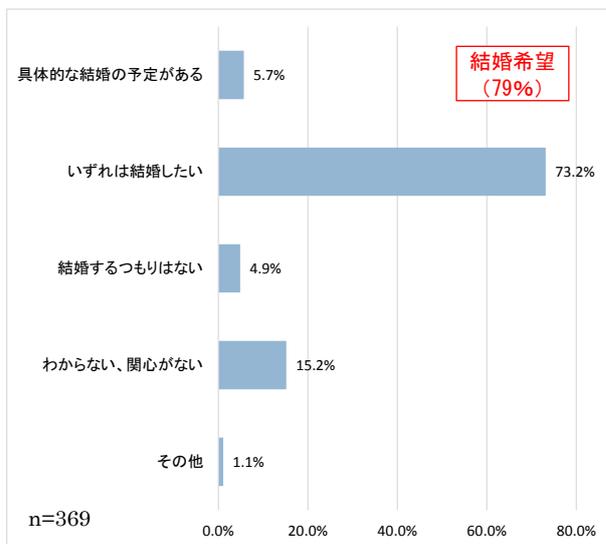
図 2-57 未婚者の理想の子ども数（市民）



（単数回答） 資料：市民アンケート調査

未婚者の結婚希望割合は、79%である。(図 2-58)

図 2-58 未婚者の結婚希望割合 (市民)



(単数回答)  
(無回答を除く)

資料：市民アンケート調査